

第 3 回 日米知事会議

アメリカ州知事視察報告

昭和 40 年 10 月 20 日～11 月 3 日

写真あり

昭和 41 年 3 月

全国知事会事務局

目 次

諸 言	1
アメリカ州知事一行の到着	
(10月20(水) 第1日)	4
東京都(10月21日(木) 第2日)	9
東京都(10月22日(金) 第3日)	18
東京都施設視察(10月23日(土) 第4日)	20
アイオワ州知事山梨県訪問	23
栃木県(10月24日(日) 第5日)	24
バーモント州知事山形県訪問	30
東京都～鹿児島県(10月25日(月) 第6日)	31
鹿児島県～宮崎県(10月26日(火) 第7日)	48
宮崎県～大分県(10月27日(水) 第8日)	63
大分県～熊本県(10月28日(木) 第9日)	74
熊本県～長崎県(10月29日(金) 第10日)	83
長崎県(10月30日(土) 第11日)	85
長崎県～佐賀県(10月31日(日) 第12日)	99
佐賀県～福岡県(11月1日(月) 第13日)	105
福岡県～東京都(11月2日(火) 第14日)	117

東 京 都 (11 月 3 日 (水) 第 15 日) …… 119

結 び …… 120

アメリカ州知事視察日程 …… 131

アメリカ州知事一行名簿 …… 149

緒 言

この報告書は、第3回日米知事会議に出席するため来日したアメリカ州知事一行が、昭和40年10月20日（水）に到着してから11月3日に帰国するまでの、会議を除く一切の報告であるが、特に東京都、栃木県のほか九州全県について行なわれた行政、産業の視察に重点をおいて記録したものである。

この報告書は、全国都道府県に、第3回アメリカ州知事訪日の行事がいかに行なわれたかを報告するとともに、事務担当者の反省の資料とし、今後継続して行なわれるこの行事を一そう効果的に運営して、その成果を高めようとするものである。

幸い今回の行事は、日程が相当タイトであつたにも拘らず、何等の支障もなく円滑に行なわれ、州知事一行にも多大の感銘を与えて成功であつた。日程がタイトであつたのは、九州全県の視察が行なわれたためであるが、全九州各県が視察県に選ばれたことは、後にも述べるように成功であつた。

今回の行政、産業の視察の成功は、一に関係都県の全幅の協力に負うものである。各空港や駅には、アメリカ州知事歓迎の横幕が張られ、バンドの演奏と令嬢の花束贈呈で華やかに迎えられ、県庁に着くと、歓迎の横看板と日米両国国旗が飾られ、再びバンドが演奏され、花束の贈呈が行なわれ、全職員が手に手に日米国旗を振って一行を迎えた。

知事会見では、多数の観光資料や膨大な日英両文の県政説明

資料が整えられ、施設の視察では、終日知事が陣頭指揮して、自から説明にあたられた。このような配慮は、州知事一行に、感銘というよりはむしろ感動を与えずにはおこなかつた。リード知事は帰国後、日本人のやむにやまれぬ友情と厚遇とには、深い感銘を受けたと語つた。

九州が主要視察地として選ばれたことについて、ハワイのバーンズ知事は『九州は海外から日本に文化が伝えられ、また、日本の文化が海外に伝えられた門戸であつた。九州は日本文化の発祥地であり、九州を知らずして日本を知ることはできない。九州が視察地として選ばれたことは適切であつた』と語つた。

ある英字紙は『州知事は、日本の庶民に接し、社会党の議員とも会談したかつたが、タイトな日程のため、それができなくて残念であつた』と述べているが、この点についてはジヤパンタイムスがその社説で、『この種公式行事では、多少の制約は止むを得ないことだ』と述べている。

今回のアメリカ州知事の一行は、50代の3名の知事を除けば、残りの7名の知事の平均年齢は、44.4才という若さで、訪問県の知事にも、息子のようなだといわれた。しかもハワイのバーンズ知事を除いては、いずれも初めての日本訪問だつたのである。生気溢れる若いアメリカの州知事代表に、日本の真の姿を見てもらい、日本人の友情を感得してもらつたことは、今後の日米関係のうえに、凶り知れない好影響をもたらすものと思うのである。

団長リード知事は、将来日本のどこかの県と姉妹州県の提携

を結びたいと述べており、ジョージア州のサンダース知事は、鹿児島県寺園知事と、姉妹州県について話し合った。また、バーモント州ホフ知事は、特に山形県を訪問して、姉妹州県の瀬踏みをした。アイオア州ヒューズ知事は、すでに姉妹州県の提携が結ばれている山梨県を訪問した。オクラホマのベルモン知事は、佐賀県との姉妹州県を希望している。

これら一連の姉妹州県提携の動きは、今回の州知事一行訪日の成果を物語るものであるとともに、州知事たちが、いかにわが国に好感を抱いて帰国したかの証左である。

この報告書を作成するにあたり、訪問都県の行事ののちに新聞報道を加え、記述の補足として完全を期した。最後の結びでは、英字新聞に報道された州知事の印象記や礼状を訳載して、州知事の印象や感銘を、そのままお伝えすることにした。

アメリカ州 知事 一行の到着

10月20日（水） 第1日

この日曇天であつたが、午後から晴れ始め、夕刻には晴天になつた。

アメリカ州知事一行は、ノースウエスト7便で午後8時15分到着する予定であつたが、ちやうど1時間遅れて午後9時30分、一行の搭乗機が着陸した。

ランプには、東会長を始め愛知、香川、山形等各知事、山梨県副知事、アメリカ大使館員マクドナルド氏、宮内局長、その他知事会関係者等が出迎えた。一行10名がタラップを降りかけると、十数名のカメラマンが一斉にフラッシュをたいて写真を取つた。クリフイールド事務局長は、忙がしく州知事代表を出迎えの日本側知事に照会、日米知事は互いに堅い握手を交わしてから、CIQ室に誘導された。一行のうちハワイのバーンズ知事は、パンアメリカン817便で、一行より一足先に午後3時55分到着、オクラホマのベルモン知事は、軍用機で午後2時立川に到着の予定であつたが、2時間程遅れて立川空軍基地に到着した。テキサス州のコナリー知事は、都合で来日が中止され、代りにロードアイランド州のチャフイー知事が訪日することになつた。チャフイー知事は、10月24日午後來日した。このような訳で、この日到着した一行は、メイン州リード知事を団長として7名の知事と、ロムニー知事夫人、クリフイ

ールド局長、旅行相談役ライケン氏の一行 10 名であつた。

かねて手配のとおり通関手続きはスムーズに行なわれ、一行は待合室に案内され、簡単な歓迎式が行なわれた。東会長の歓迎の辞は次のとおりである。

アメリカ州知事の皆様、ご政務ご繁忙のところ、はるばる東洋の島国日本によくお出で下さいました。私どもは、皆様のご来訪を心からお待ちしておりました。

昨年私及び日本の知事代表は、第 2 回日米知事相互訪問のため貴国を訪問いたしました。先ず最初に訪問しましたハワイでは、バーンズ知事及びご令室から、非常なご歓待を受け、また、歴訪いたしました各州では、盛んな歓迎と心温まるご厚遇を賜わり、多大の感銘を受けたのであります。今般皆様をお迎えして、幾分なりともご厚遇にお報い出来ますことを嬉しく存じます。

承われれば多くの知事さんは、今回始めて日本をご訪問の由でありますので、私どもも出来るだけ広く、かつ、深く日本の現状をご視察いただきたいと存じますが、日数が短かくて残念です。短かい期間ではありますが、十分日本ご滞在を愉快にお過しいただきたいと存じます。

ご到着早々でお疲れのことと存じますので、これをもって私の歓迎の言葉を終ります。

続いて 44 才の青年知事で団長のリード氏から、大要次のような挨拶があつた。

今晚は東知事始めその他の知事さん及び多くの方々のお出迎えをいただき、心からありがとうございます。

今回は、日米知事相互訪問の3回目ではありますが、このように回を重ねて参りますことは、両国知事の友情をますます強固にしてゆくことでありまして、まことに嬉しい次第であります。

このたび10名の知事が日本を訪問することになりましたが、都合によりテキサス州知事は、訪日中止することになり、その代りにロード・アイランド州知事が、24日に来日することになりました。私は今回始めて日本を訪問いたしましたのであります。

前2回の知事会議では、行政その他各種の問題が討議されましたが、今回はアメリカ側から、観光事業の振興という議題を提出いたしました。

会議後私どもは、九州各地を視察いたしますが、新しい土地を見せていただくことに多大の期待をもっております。そして多くのことを学ぶと共に、多くの日本人に接して話合いができますことを楽しみにしております。

リード知事の挨拶ののち知事会渉外部職員橋本嬢から花束が贈呈され、続いて乾杯があつて歓迎の式を終つた。一行は羽田空港中庭から、待機していたハイヤーに分乗、前後を警視庁のパトカーに護衛され、一路深夜の高速道路を宿舎の帝国ホテルに向つた。帝国ホテルには、午後11時に到着した。

羽田空港を出発する時、一行の配車について一寸した混乱が生じた。失敗は失敗として認め、再び覆轍を踏まないように記録に止めておこう。今後訪問県でも参考にしていれば幸いである。

係員は米州知事一行の面識は無かつたし、何号車に誰と誰が乗車すると連絡する暇も無かつたので、1号車は団長、2号車以下は1台に2名ずつとのみ伝達した。いざ乗車の段になると外人の出迎え者が乗り込んで1台に4人も5人も乗車しているところもあれば、たった1人のところもある。団長リード知事はように姿を見せない。果して全員が乗車し終ったのかさっぱり分らない。こんな次第で数分間出発が遅れて、東会長がはらはらして気をもんでおられた。

このような場合、混乱を避ける最もよい方法を、後に宮崎県視察の際学んだので紹介しよう。それは半紙大の紙に、一方に車のナンバーを、他方に使用者の氏名をできるだけ太字で、夜でも読めるように鮮明に書いて、この紙を車窓に掲示しておき乗車が済んだらこの紙を取りはずすのである。この場合別に車のナンバーを表示する紙片を、貼付しておくことが必要である。字数はできるだけ簡略にして、例えば GOV. HANSEN などとすることが肝要である。フルネームを書くと却って分りにくい。

宮崎県でサンプル1枚を貰い東京に急送して、アメリカ州知事一行の帰国に間に合わせて成功したが、知事のうちには、自分のカーナンバーと氏名を書いた紙片の傍で写真に写してもらっている者もあり、よい感情を与えるものであるらしい。配車

区分はしばしば突然変更することがあるので、この方法は自動車の効率的使用の上からも、推奨に値する方法である。

同時に、タグやラベルを前もって先方に送付しておくことは、荷物の識別を容易にし、誤りなく迅速に処理ができるので爾今ぜひ実施したい。

東 京 都

10 月 21 日（木） 第 2 日

この日朝から快晴。日程どおり午前 8 時 30 分から、帝国ホテルで日米両局長の打合せが行なわれ、細部にわたって注意や要望事項が伝達された。

午前 9 時 30 分から 1 時間、アメリカ大使館でアメリカ人のみの水入らずで、ライシャワー大使のブリーフィングが行なわれ、続いて 10 時 50 分から、赤坂溜池の東急ビル内アメリカ・トレードセンターで、記者会見が行なわれた。会見は 2 階ロビーで行なわれ、内外記者約 20 名、傍聴者約 30 名で、室は満員の状況であった。記者会見の状況は、次のとおりである。

記 者 会 見

最初に団長リード知事が、全出席知事を紹介してから、大要次の挨拶を述べた。

このような記者会見を開いていただいたことをうれしく存じます。昨日東京に到着しました時は、東知事及びその他多くの知事等のお出迎えをいただき、うれしく存じております。

先刻はライシャワー大使と会見して、いろいろのことを学んで参りました。私共が今回日本を訪問いたしましたのは、行政、産業、工業等の発展のため、日米共通の願望を充すためであります。そして来年は、日本の知事代表が、アメリカ

を訪問することになっております。

時間の関係で、団長リード知事から上記の簡単な挨拶があつたのち、質疑に入り、最初に記者代表から、次の質問があつた。

『佐藤首相に会われるが、どんなことを話されるか？』

リード知事

総理がアメリカに対し、どんな考えをもつておられるかを承わりたい。一国の総理大臣と会つて直接ご自身のご意見をうけたまわる機会が与えられたことをうれしく思っている。

『今回の日米知事会議の議題である観光事業の開発について、大きく名所旧蹟と自然美の開発に分けられると思うが、自然美の開発について深い経験のあるアメリカ側から、何か日本に助言を与えてもらいたい。』

リード知事

この問題については、各州知事も自分の州の風光明媚な点について、大いに語りたいところであり、私一人占めの回答はすべきでないと思う。私のメイン州は、非常に海岸線が長く、特に夏は多くの観光客が来て、観光事業はわが州の第2の産業になっている。

サンダース知事

南部諸州には、名所旧蹟もあり、自然美もすぐれており、南部各州が合同して観光客を誘致するように努力している。今回の会議の議題に、観光事業が取り上げられたことは、よろこばしい次第である。この観光の面を通じて、日米両国民

間の交流を一層緊密にすることを期待している。

ホフ知事

アメリカ全体としては、観光事業に十分な考慮が払われなかつたと思う。自然美も立派な資源で、ジョンソン大統領は、特にこの部面の開発を強調している。人口の増加とともに、自然美が損なわれていく状況であるが、この点日本ではどのような対策を立てておられるかを知りたい。私はさらにヨーロッパを訪問して、旧跡の建造物がどのように保存されているかを視察したいと思つている。1930年代までに、アメリカの歴史的建造物の3分の1位が失なわれている状態なので、十分注目しなければならない問題だと思う。

ベルモン知事

われわれのオクラホマ州は、自然に観光資源を有していると思う。カウボーイもインディアンもフロンティアも、現にわれわれの州で見ることができるのであつて、オクラホマにもぜひ来てもらつて、実際の西部がどうして勝ち取られたかを、見ていただきたいと思う。

ハンセン知事

われわれは、日本における観光事業の振興方策に、強い関心を抱いている。国立公園はアメリカで始められた制度であるが、今日では世界各国で行なわれており、日本にも国立公園があることを知つてご同慶に思つている。

狩猟のため、動物の保護地を設けることも、観光事業の面から必要なことと思う。

第3に、スポーツは日米友好のうえに重要な役割を果たしているが、今春大学レスリング競技会がわが州で行なわれ、日本の留学生諸君が非常に活躍してくれた。

『ベトナムに行かれると聞いているが、このように多数の知事が行かれることは、ジョンソン大統領の政策を、超党派的に支持していることを示すものか？』

リード知事

今回は超党派の知事の団体で、日本の知事会の招きによって来日したものである。ついでにベトナムを訪問して、ベトナムの情勢を直接この目で確かめようとするもので、主たる目的は訪日である。ベトナム訪問は、訪日が決定した後にきめられたもので、われわれの中の一部の者は、知らなかつた者さえある。

ベルモン知事

われわれは、国の外交政策には関係していない。

ロムニー知事

一つつけ加えたいことは、ジョンソン政策の支持者は、共和党の方が民主党より多いくらいで、両者いずれも基本的にはジョンソン政策を支持している。平和を維持するという基本線は変らない。

ヒューズ知事

私は山梨県を訪問する予定である。山梨県とアイオア州は、姉妹州の関係を保っている。1959年に山梨県が台風のため非常な災害を被った時、35頭の種豚と8万ブツシエル

のトウモロコシを送った。この返礼として牡丹の木 200 本山梨から送られ、現在州庁の構内に植えられている。また、梵鐘が贈られたが、これは毎年元日に日本の留学生が、108 回つくことが慣例になっている。このようにして州県の理解と友情は、非常に高められた。先程申した 35 頭の種豚から今日では 3 万 5 千頭にも殖えている。

自 治 大 臣 訪 問

午後 2 時から 35 分間、自治省に永山自治大臣を訪問した。陪席者は、大西政務次官及び金丸事務次官であつた。自治大臣から、次のような挨拶があつた。

私は国家公安委員長であるが、もと東京都にいて交通に係る仕事に従事していたので、今般の日米知事会議の議題には、多大の関心をもっている。

私は、文化が進み産業が発展しているのに、交通事故が増加しているのは、悲しむべきことで、どうしたらこの問題を解決できるかと日夜考えている。

大臣が少しポーズを置くと、直ちにアメリカ州知事から一年に交通事故数は、どの位あるか？

東京の自動車数は、どの位か？

などの質問が出され、アメリカでは、州間の協力によつて交通事故を減少するように努力している。各州は、90 パーセントのハイウエー援助金を受けているが、州は交通安全計画を立て

ることを要請されており、要請されたような安全計画が立っていないと、援助金を削除される。という説明があつた。続いて州知事から

学校で交通安全教育を行なっているか？

日本では、高速道路をどのように利用しているか？

交通事故の最大のものは、飲酒かスピード違反か？

等質疑応答は、主として交通問題に集中した。また、警察制度についても質問があつた。ある州知事は、九州旅行ではもつと民衆と直接接触する機会、例えば公衆浴場や市場などを訪問したいといった。

自治大臣との会見は、1時間を予定していたが、35分で終わってしまったので、皇居前広場に行くことにした。皇居の内部は特に興味があるらしく、両陛下は平素ここに住んでおられるのかとか、面積はどの位あるのかなどと質問があつた。二重橋から坂下門まで玉砂利を踏んで歩いたが、その間二重橋を背景にしたり、丸の内オフィス街を背景にしたりして、記念撮影をし、州知事も各自に写真をとつた。午後3時30分の都庁訪問までにはまだ時間が余つたので、千鳥ヶ淵から三宅坂を廻り、皇居を一周してから都庁を訪問した。なお、午後1時40分からの外務省訪問は、都合により中止になつた。

東京都庁訪問

所定の午後3時30分に東京都庁を訪問した。アメリカ州知

事一行は、2階の知事特別応接室に案内され、東知事、鈴木、日比野両副知事その他幹部に迎えられ、堅い握手を交わしてから、東知事の英語による歓迎のことばが述べられた。その後東知事から、知事直筆の色紙を入れた額、写真帖、東京都の鍵等の贈物が、州知事に手交され、州知事からも、一人一人記念品が東知事に贈られた。

東知事からは、改まった都政の説明はなかつたが、次のような多くの質問が州知事から出され、質疑応答は、東知事とすべて英語で行なわれた。

東京都にはどれ位の自治が許されているか？

知事は警察権をもっているか？

建築物について、知事は統制権をもっているか？

交通に対し、知事は統制権をもっているか？

税金にはどんな種類があるか？

所得税は高いか？

物品税はあるか？

税金の収入中、所得税はどの位の割合を占めるか？

議会があるか？

議員は何人か？ 選挙区があるか？

議会の招集期間は何日か？

皇居の面積はどれ位か？

選挙権は何才からあるか？

婦人も被選挙権があるか？

婦人議員がいるか？
都の人口はどれ位あるか？
副知事は選挙されるのか？
知事の任期は何年か？
あなたは医者であると聞いたが、本当か？
選挙費用は誰が払うのか？
学生は皆制服を着るのか？
男女は共学か？
東京に大学がいくつあるか？
大学に入ると金がかかるか？
東京大学は公立か？
福祉事業は国の責任か県の責任か？
学校に宗教行事があるか？
東京の警察官は何人か？
その数（警察官）は毎年増加するか？
青少年問題はどうか？
死刑は行なわれているか？
スモッグの問題は起らないか？
競馬は法律で規定されているか？
酒を販売するのにライセンスがいるか？
東京都の交通事業はどうか？
東京都の交通事業は儲かっているか？
テレビは公私いずれか？
新聞は公私いずれか？

始めて日本を訪問した多くの州知事は、質問の種には事欠かない様子で、矢継ぎ早に各方面の質問が出されたが、適確な回答が与えられ、州知事一同は大いに満足して、午後 4 時 20 分都庁を辞去した。

午後 6 時から小石川の椿山荘で、東京都知事主催のレセプションが開かれた。この夜ミシガン州知事夫人も招待されたので、東知事夫人、宮内局長夫人も出席して歓待した。翌日の日米知事会議を控え、多数日本側知事も上京していたので、すべての在京知事も招待された。宴酣にして西崎舞踊団による諸国民謡の踊りが披露され、州知事一行は、日本上陸後始めて見る日本の踊りに、盛んに拍手を送っていた。

午後 8 時帝国ホテル帰着。

東 京 都

10 月 22 日（金） 第 3 日

この日半晴、天候には恵まれていた。午前 9 時から午後 3 時まで、都道府県会館 6 階大会議室で、第 3 回日米知事会議が行なわれたが、会議に関する報告は、別冊議事録を参照されたい。ここには、会議以外の行事などについて報告することとする。

昨日の朝クリフイールド事務局長は、6 時に起床して築地の中央卸売市場を視察したといっていたが、今朝は、ベルモン知事、ロムニー知事、ホフ知事、ハンセン知事、バブコック知事、サンダース知事が、前アメリカ大使館員デイク氏の案内で、再び中央卸売市場を見学した。もちろんこの見学は、事務局員の誰も知らないうちに行なわれたのである。感想を聞いてみたら、人々は忙がしそうに働いていたが、皆大へん愛想がよかった。こうした市場にあり勝な魚の悪臭もなく、場内は大変清潔だった、と言っていた。1 日の出入者 6 万 5 千人、出入する自動車 7 千台、1 千万都民の台所を賄う雑踏と喧さうの渦巻く中央市場を見て、一行はさぞ驚いたことであろう。

アメリカ大使主催晩さん会

午後 7 時 30 分からアメリカ大使館邸で、ライシヤワ大使主催の晩さん会が開かれた。

今年アメリカ州知事訪問県の知事が招待され、宮崎、大分、

栃木、佐賀、熊本の各県知事ほか、特に大使の招待により神奈川県知事が出席、知事会事務局から、事務局長と事務局員2名が招待された。東会長は、オークランドにおける日米市長及び商工会議所会頭会議に出席のため欠席した。アメリカ州知事一行は、チャプイー知事（未着）とロムニー知事夫人を除いた全員11名と大使館員2名で、合計約20名であった。

応接室で約1時間カクテルを飲みながら歓談ののち、晩さん会場に案内された。デザートに入ってから、ライシャワー大使の次のような挨拶があった。

短かい挨拶ですから通訳はなしにいたします。通訳はなくても、言葉の障壁を越えて、お互いの友情は、十分通じると思います。今日は皆さんはたくさん日本での挨拶をお聞きになっていますから、私はここで再び繰り返さないことにして、簡単にシャンペンの杯を挙げて、ご挨拶に代えます。乾杯は日本の知事さんとアメリカの知事さんの友好のため、お互いに杯をつけ合つていただきたい。

団長リード知事は、次のように挨拶した。

ライシャワー大使から多くの助言をいただきありがとうございました。大使が日本国民との友好のため、どれ程努力しておられるかを始めて知りました。日本国民と大変親密な間柄におられることが非常に印象深く、かつ、感激しておる次

第であります。

予定通り晩さん会は、午後 9 時 30 分に終つてアメリカ州知事一行は、帝国ホテルに帰還した。

東京都施設視察

10 月 23 日（土） 第 4 日

曇り。午前 8 時 45 分バスにて帝国ホテル発。一行はロードアイランド州チャファイア知事、アイオア州ヒューズ知事、クリフィールド局長を除いたアメリカ州知事一行 10 名と、東京都及び知事会職員、新聞記者等であつた。アイオア州ヒューズ知事は、この日山梨県の招待により同県を訪問したが、そのことについては、本項末尾に記載した。

午前 9 時、一行は先ず明治神宮を参拝した。

日米知事相互訪問計画によるアメリカ州知事の来日は、今回で 3 回目であるが、明治神宮の表敬は今回が始めてであつた。

国民崇敬の的であり、深い森に囲まれた森厳な明治神宮は、日本の精神文化の一面を伝えることができると考えたのである。

玉砂利を踏んで大鳥居をくぐり、みたらし所で、ここは手を洗い心を清めるところだと教えられ、更に社務所を過ぎると神官が、子杓で手に水を掛けてくれ、三宝に手拭きの紙を出された。一同真剣な表情であつた。神前に額ずき、団長リード知事

から玉串が奉てんされ、一同柏手を打つて恭々しく礼拝した。終つて一人一人に神酒が供された。一同の真剣な表情から、われわれと同じように敬虔の念に打たれたことは確かであつた。

バスは新宿から青梅街道に抜け、郊外や農村の風景を眺めながら 11 時半東京都東村山浄水場に到着、本館会議室に案内され、管理事務所長佐藤威夫氏が要図によつて説明、都水道局の井上氏が通訳した。3 年前に創設されたこの浄水場の建物は、真新らしいものであつた。

佐藤所長から、次のような挨拶があつた。

本日はご多忙のところ私たちのこの浄水場をご視察いただき、ありがとうございました。私どもの浄水場施設には、多くのアメリカの技術が取り入れられております。そして今後私共の多くの技術者が貴国を訪問すると思ひますが、その節は何とぞよろしくお願いいたします。皆様愉快な旅を続けられますようお祈りいたします。

その後狭山湖の取水口を見て、東京都水道局のかも場で昼食が出された。昼食前に鴨猟の説明と実演があつた。よく馴れた家鴨に野生の鴨を深い溝に誘導させ、飛び上るところを網で被う古来の鴨猟であるが、シーズン・オフのため残念ながら猟は出来なかつた。ハンセン知事は、真先に網を持つて鴨を取る真似をして皆を笑わせたり、写真に撮らせたりした。

昼食には、鷹匠鍋と手打ちそばが供された。小さな七輪の上

に鉄板をのせ、その上で鴨の肉や牛肉や野菜をあぶって大根おろしの汁に浸して食べるので、ジンギスカン料理に似て甚だ美味である。昔鷹匠が野外で食べた料理だそうである。終りに手打ちそばが出された。州知事たちは、おぼつかない手つきで箸を持ちそばを食べていたが、箸を持つこともそばを食べることも、生涯で始めてのことであつたに相違ない。ライフの記者と読売新聞の記者が写真を撮っていた。

午後4時一行は、駒沢オリンピック公園に到着した。始めに小川事務所長から概要説明があつた。ここは40万平方メートルの敷地があり、49億円を費して施設が整えられ、オリンピックの際は、第2会場としてサッカー、バレーボール、ホッケー等の試合が行なわれたところである。その後野球場等が建設され、オリンピック大会後、総合運動公園として再出発することになったものである。

陸上競技場は、400メートルのトラックを有し、2万5,000人の観客を収容することができる。50メートルの管制塔は、現在記念塔として保存され、駒沢オリンピック公園のシンボルになっている。屋内球技場は、観客3,000人を収容ことができ、この日ちようど東洋の魔女といわれた日紡富士クラブ・チームとヤシカ・カメラ・チームとの試合を見物することが出来た。

夕刻5時50分から、この日のアメリカ州知事一行の視察状況について、読売新聞社ニュースとして、約2分間テレビ放送があつた。一行は午後5時帝国ホテルに帰還した。

自治省外務省共催晩さん会

午後 6 時から 7 時 30 分まで帝国ホテル孔雀の間で、自治省と外務省共催による歓迎晩さん会が、ブツフェ・スタイルにより催された。主催者側として自治省から永山自治大臣、金丸事務次官等が、外務省から正示政務次官等が出席、訪日全アメリカ州知事が招待された。

アイオア州知事山梨県訪問

かねてアメリカ全国知事会クリフイールド事務局長から、アイオア州ハロルド・E・ヒューズ知事の山梨県訪問について申し入れがあつたので、山梨県と折衝中のところ、10月23日に山梨県訪問が実現することになった。山梨県とアイオア州は、姉妹州の関係にあるが、アイオア州都デモイン市と甲府市とは姉妹都市提携を結んでおり、特別に深い間柄にあるものである。昭和35年1月アイオア州から35頭の種豚と6万ブツシエルのトウモロコシが山梨県に送られたが、この豚の血統はその後県下5万5千頭の豚の80~90パーセントを占めることになった。山梨県からは梵鐘を贈り、また、農業視察団の派遣や姉妹校提携等が行なわれてきた。

ヒューズ知事は、23日午前10時23分第2アルプス号で甲府市に到着。駅頭では天野知事をはじめ県内各界代表、市民、

学生等の盛んな歓迎を受け、県庁を訪問、天野知事、田中副知事等と会談したのち、各界代表による歓迎式に臨んだ。このあと湯村温泉でのレセプションに招かれ、郷土芸能を楽しみ、午後1時30分、天野知事らと共に県営総合グラウンドからヘリコプターに乗り、富士山や富士五湖を探勝し、東京に帰還した。

栃 木 県

10月24日（日） 第5日

この日快晴、絶好の行楽日和であつた。アメリカ州知事一行のほか皇太子殿下の日光訪問もあつて、栃木県警察本部は、自動車のラッシュ防止に非常な努力を払つたということである。

一行中にロムニー知事夫人も参加したが、バーモントのホフ知事とクリフィールド局長は、山形県に招待されていたので、日光訪問は中止された。

一行は午前8時40分東武D特急で浅草駅発、途中田園の風光を楽しみながら、10時25分東武日光駅に到着した。到着以来始めて東京を離れた州知事一行には、日本の田園風景が殊め外気に入つたらしく、一同飽かずに窓外の景色を眺め、木でも作物でも珍らしいものはなんでも『あれは何か?』と質問した。

駅では横川知事、日光市長その他多数県、市関係者が出迎え、横川知事の先導でハイヤーを連ね、輪王寺に向つた。境内では

池に面した庭にテーブルを並べ、管原栄海門跡主催により茶の湯が催された。美しく彩った紅葉が池に映え、楽しい静かなひと時であった。グランド將軍署名の巻物について管原門跡から説明があつた。輪王寺ではおみくじを買い翻訳してもらつて子どものように喜び、生垣にたくさん結ばれた紙片に好奇の目を見はつた。

東照宮では、老杉の緑に映える金と朱のけんらんたる建築美に目を奪われ、10名ばかりのカメラマンが、雑踏を分けながら一行の跡を追つた。靴を抜いで約20分間、東照宮内部を拝観した。

正午すぎ大谷川ほとりの金谷ホテルに到着、横川知事主催の昼食会に招かれた。

横 川 知 事 挨拶

日米知事会議にご出席の米国知事各位を、本日わが日光国立公園にお迎えできましたことは、私の最も光榮とするところでありまして、150万県民とともに、衷心より歓迎申し上げます。

米国知事各位におかれては、日米知事会議の都度日光を訪ねられ、今回で3度目ではありますが、これは日光が東京から電車で2時間という近距離にあり、週末の清遊には格好の場所であるばかりでなく、今朝来ご覧になられた神社仏閣の人工の美と、これを囲む天然の美が、特に海外からのお客様に喜ばれているためと存じます。

そこで日光国立公園の概要をご紹介申しますと、日光国立公園は、1934年指定となつた日本最初の八つの国立公園の一つであり、現在は23国立公園の一つとなっております。その面積は約540平方哩で、面積の点では23国立公園の第5番目となっております。年間の観光客数は1千万を越え、この中には10万を越す海外観光客も含まれております。年間の観光消費額は、約5千万ドルと推算され、これらの数字は、全国国立公園でも最上位の部類に属しております。

日光国立公園について私どもが最も苦心しておりますことは、激増する観光客を前にして、自然保護と施設改善をいかにして進めてゆくかということであります。これがため私自身も米国国立公園を訪問し、職員も何名か米国に派遣して、成果を収めております。

日光の直面する困難のうち最も大きなものは、交通問題でありまして、新緑紅葉の時期には、1日1万台の自動車が、第1いろは坂を往復し、しばしば交通麻痺を起したのであります。そこで第2いろは坂を造ることになり、これは今月の6日に完成を見、新道路は上り専用、旧道路は下り専用といたしました。これにより年来の交通難は、ほぼ解消するに至りました。本日午後の奥日光行きには、この2本の有料道路を利用するわけであります。

最後に、日光には古来よく人口にかい炙されている有名な言い伝えがあります。それは『日光を見ずして結構というなかれ』というのであります。日米知事会議や環境の相違から、

各位にはお疲れのことと拝察いたしますが、どうか本日は、ご疲労を払拭するお気持ちで、お気軽にお遊びいただきまして、日光の風景を満喫していただければ幸いです。

今回来日したアメリカ州知事一行は、ハワイはもちろんその他各州いずれも広大な国立公園を有し、施設の改善と観光客誘致に多大の尽力をしている人々であり、日光の観光事業に言及された横川知事の挨拶は、一行に多大の感銘を与えた。挨拶ののち横川知事から、お土産として絹織物が贈られ、日光市長からはスライドが贈られた。続いてオクラホマ州ベルモン知事から一行を代表して次の挨拶があつた。

ベルモン知事挨拶

今日は私どもの日本訪問中のハイライトをなすものであると存じます。日光や日本の風景については、前々から聞いておりましたが、今日まのあたりにその風光に接することができ、日光はほんとにすばらしいと思いました。この美しい風景に加えて、大変なご歓待を受けて、感激している次第であります。アメリカにおりましても、アメリカ人の口に合うこのようなご馳走は、とても食べられません。

私は農業州の者でありますので、車中東京から日光までの風景を十分楽しむことができ、うれしく思いました。特に日本の児童の絵をいただいて、ありがとうございました。また、県民の心からのご好意といろいろの贈物をいただき、深く感謝いたしております。

ここに 10 名の知事がサインをしたスクロールを、友情のしるしとしてお贈りいたします。

ベルモン知事に続いて、一人一人の州知事から、横川知事に贈物がなされた。

昼食後、日光音頭やわらく踊りなどの民間舞踊が紹介された。

午後はバスで華厳の滝を観瀑台から見物した。狭い観瀑台は見物客が群つて、覗き見するのも容易でない。若い州知事たちは、手摺から身体を乗り出して写真を撮っていた。近くの売店でバブコツク知事は、額入りの滝の絵の 500 円のものど 550 円のもの一つずつ買って、子供のように嬉しがっていた。

中禅寺湖棧橋から遊覧船に乗って、約 30 分間湖上遊覧をした。海拔 1,270 米の湖上は、さすがにもう寒い位である。四周の山々の紅葉は正に見頃で、湖上に映えて絵のようにみごとであつた。

午後 4 時日光有料道路(通称いろは坂)を下つて帰途につく。全山紅葉した中を、バスは羊腸の道を縫つて下る。絵の中にあるような美しさである。

帰りは国鉄日光駅から日光号に乗車、午後 4 時 45 分同駅を出発した。発車までの 20 分間駅長室で休ませてもらったが、州知事たちは再び改札口を出て、附近の店屋で土産物を忙がしく買っていた。駅には、この日終日州知事の案内と接待に陣頭指揮した横川知事を始め、多数の県市関係者が見送った。

帰途汽車の中で州知事たちの感想を聞いてみると、ロムニー知事は、『緑の杉と美しい建築物の調和は見事であつた。途中

の田園の風景も美しかった』といった。またハンセン知事は、『私も日光のような高原に住んでいるが、田舎の農場の風景は大好きだ』といい、リード知事は、『市民が日米の国旗を振つて歓迎してくれたことは、本当にうれしかった。神社と湖上遊覧は特によかった。人々が勤勉で愛想のよいことにも感心した』と語った。

新 聞 報 道

栃木新聞（10月25日）

日光の秋を満喫。日米知事会議の米州知事一行

日米知事会議で来日中の米国州知事ジョン・H・リード（メイン州・団長）、ジョージ・ロムニー（ミシガン州）、タイム・バブコック（モンタナ州）、クリフオード・P・ハンセン（ワイオミング州）、ヘンリー・ベルモン（オクラホマ州）の5知事は、24日午前10時25分東武日光駅着の特急電車で日光市に到着、出迎えの横川知事、佐々木日光市長らの案内で輪王寺、東照宮、華嚴の滝、中禅寺湖などを視察した。

一行にはジョージ・ロムニー夫人、宮内全国知事会事務局長らも加わり、東武日光駅からハイヤーに分乗して輪王寺を訪れた。同寺では菅原門跡とともに紫雲閣庭園でお茶の接待を受けたが、純日本式庭園での茶会に感動、横川知事に『こんなに美しい県の知事をされているのは本当にしあわせだ』と語っていた。また同寺では、明治12年7月27日に訪れた南北戦争のヒーロー、グランド將軍のサインを見せたりおみくじを引いた

りして、東照宮へ向かった。

東照宮では矢島禰宣の案内で五重塔、陽明門など華麗な色彩と彫刻に『ワンダフル』を連発、しきりにカメラにおさめるなど、日本古来の芸術に感動した。

引き続き正午から金谷ホテルで横川知事招待の昼食会にのぞんだあと、新装なった第2いろは坂を通過して中禅寺に向い、華嚴の滝見物、潮上遊覧を行なったが、こんどは紅葉した自然の美と、それに調和した近代建築技術に満足、午後4時45分国鉄日光駅発の準急『日光』で帰京した。

バーモント州知事山形県訪問

バーモント州フイリツプ・H・ホフ知事は、かねてクリフィールド事務局長を通じ、山形県訪問の希望を表明してきたが、山形県安孫子知事の快諾を得て、クリフィールド局長を滞同、同県を訪問することになった。

ホフ知事とクリフィールド局長は、10月24日空路山形県を訪問、安孫子知事らの案内で県内を視察したが、県庁までの途中東根市のリンゴ園では、もぎたてのリンゴをほおばり、紅葉の美しい山寺では、コンニャクを食べて観光客を驚かせた。県庁で休憩ののち午後から蔵王にのぼり、蔵王エコー・ラインと蔵王ラインをドライブして、秋の行楽を満喫した。

バーモント州は、アメリカ北東部の小さな農業州で、果樹、

畜産が盛んで、自然環境も山形県とよく似ているところから、ホフ知事の山形県訪問は姉妹州県の瀬踏みと思われる節があつた。果せるかな記者会見の席上姉妹州県の話がもち上り、ホフ知事は次のように語つた。『帰国後議会と相談するが、姉妹州県が実現すれば、私は農業、観光、産業の三つの面でお互いの交歓を行ない、相互の利益を高めたい。今日の訪問で私は、山形県に数えきれない程の印象を受けた。』ホフ知事とクリフイールド局長は、同日夕刻特急列車で帰京した。

東京都 ～ 鹿児島県

10月25日（月） 第6日

いよいよ今次アメリカ州知事一行の主要視察地九州に向うことになつた。一行はアメリカ州知事団12名と、日本側随行者5名の合計17名であつた。幸い天気晴朗、定刻10時日航機109便に搭乗、同45分大阪国際空港着、全日空215便に乗り替え、予定通り午後12時55分鹿児島空港に到着した。

今回の行事に全日空は、全幅の協力をしてくれたが、特に慣例を破つて州知事一行に、昼食時ボックス・ランチを提供してくれた。それも一般乗客と差別をつけないようにとの配慮から、乗客全員に同じボックス・ランチが提供されたのであつた。また、2人のスチュアデスは、容姿端麗、優美さと知性を備え、笑みこぼれるばかりで、一行のサービスに努めた。

空港では、寺園知事ほか議長代理、鹿児島市長ら県市幹部職員の出迎えを受け、花束贈呈があつてから、次のような寺園知事の挨拶があつた。

日程が短かすぎて何もお見せできません。限られた日程のなかで、市内の一部と桜島を案内いたします。もう一晚泊つていただければ、東洋のハワイ指宿か、霧島国立公園をご案内できるのですが残念です。

鹿児島県庁訪問

このあと一行は、パトカーに警衛され、ハイヤーを連ねて鹿児島県庁へ。庁舎玄関には“Welcome State Governors of U. S. A. Kagoshima Prefecture”と書いた大看板の左右に日米の国旗が掲げられ、全職員が日米の国旗を振つて歓迎する中を州知事らは、歓迎陣の一人一人に握手をしながら、知事応接室に案内された。

寺園知事挨拶

東京で重要な忙しい会議をすませて九州においでになるについて、最初に鹿児島をご訪問いただきありがとうございました。

桜島は、ときどき噴火して観光客に喜ばれておりますので、ご滞在中にも噴火するかも知れません。

鹿児島は日本の南の端で、沖縄と隣りあわせにあります。

南北の距離は、東京から岡山までの約 586 キロあります。

人口は 190 万、面積は 9,140 平方キロです。

鹿児島県は、農業従事者が主体となっております。くわしいことは、差上げてあります資料に書いてありますが、産業としては農業が主体であります。その他林業、水産業に従事いたしております。

いたるところ美しい景色があり、県下全域にわたって国立公園もしくはその他の公園に属しているといつても過言ではありません。

この県庁は、日本のなかで一番古く、1925 年にできあがったものです。日本国中を歩かれても、県庁建物でこれより古い建物はご覧になれないでしょう。戦争中焼けまして、天井や壁はこわれて使いものにならなかつたものを、その後修理いたしまして現在使っております。余りきれいでなく、狭くうるしい部屋でお気の毒です。

上記の寺園知事の挨拶に対し、一行を代表してハワイのバーンズ知事から、次のような挨拶があつた。

一行を代表してお礼の言葉を申し上げますことを光栄に存じます。

日本に参りまして、日本人の勤勉さ誠実さがよくわかりました。今後東洋の平和のために、お互いに手をつないで協力し合うよい相手をもつたものだと思っております。今後日米

両国がさらに友好を深め、世界の平和のために努力してゆきたいと思っております。

このあとバーンズ知事から、10名の知事のサイン入りのスクロールが寺園知事に手交された。雑談の際寺園知事から桜島の紹介があり、寺園知事は『私どもは州知事各位にとんな歓迎でもしたいと思うが、桜島の噴火で歓迎することだけは、私の思うようにゆかない。』といつて桜島にことよせて、心からの歓迎の意が表された。寺園知事から州知事一同に錫製の大小一對の湯呑みが贈られたが、アメリカ州知事から『アメリカでは大きいコップは女性が使い、小さい方を男性が使うが、日本でもその通りか。』と質問があり、寺園知事は、日本では全く反対である、と答えた。

鹿児島市について次のような説明があつたので附記する。

鹿児島市の概要

鹿児島市は、日本の南端鹿児島県の中心に位置し、市街地は東に錦江湾をへだてて雄大な桜島をのぞみ、西部と北部は低い丘陵と台地によつて囲まれています。特に市街地から眺めた桜島の景色はすばらしく、東洋のナポリと称されています。

この都市は、島津77万石の城下町として栄え、古くから琉球や中国大陸との交流も行なわれていました。市民は尚武の国にふさわしい豪快な気風に富み、わが国に最初に西欧文

化を受け入れて、造船所、紡績所の建設等技術革新を導入した実績があります。また日本最初の本格的洋式軍艦を建造し、そのマストに高々と掲げた日の丸が、日本国旗制定のきっかけになっております。明治維新には、近代日本の発祥の地として、西郷隆盛、大久保利通その他幾多の英傑を生みだしました。また東郷元帥も当鹿児島に生まれました。第2次世界大戦では、市街地の9割が焦土と化しましたが、戦後画期的都市計画によつて、市街地は見ちがえるように整備されています。

鹿児島市は、その輝やかなしい歴史と恵まれた自然とで多くの人々に親しまれており、日本最南の拠点都市として、たくましい歩みを続けています。とくに明治維新にまつわる数々の史跡と、錦江湾に浮かぶ絵のような桜島は、観光鹿児島のシンボルであり、その明るい太陽と澄みきつた空と海は、東洋のナポリの名にふさわしいと申せましょう。1960年5月には、イタリアのナポリ市と姉妹都市の盟約を結び、国内はもとより国際的にも、大きくクローズアップされています。また、これとともに交通網も年々整備され、航空路は沖縄をはじめ、東京、大阪、福岡に通じ、さらに南西諸島にも伸びています。

現在鹿児島空港における発着回数も多く、今後さらに増加するものと思われまます。また、鹿児島港の整備と新港南港の開設によつて沖縄をはじめ、南方地域との貿易はますます盛んになり、さらに香港をはじめ東南アジアとの貿易も開かれ、

今や鹿児島は、南方地域への貿易交通の玄関口としてきわめて重要な地位を占めています。

また、鹿児島南港を中心とする臨海工業地帯の建設とともに、各種工場の誘致も期待されております。

主要特産品は、焼ちゆう、でんぷん、大島つむぎ、竹細工、薩摩焼などがあり、鹿児島市を訪れる観光客に好評を博しています。

面積は 180.58 平方キロ、人口は 327,009 (40. 11 調べ) であります。

大島つむぎ（久野商店）視察

午後 2 時 25 分バスで県庁を出発、市内の久野商店で大島つむぎを視察した。

店の前では久野商店の従業員や近所の奥さんたちが、手に手に日米の小旗を振って迎えた。州知事たちはエプロン姿の奥さんや娘さんと気軽に握手、肩に手をかけて写真に撮られる場面もあり、なごやかな親善風景が展開された。日本の庶民と接して話したいといていた州知事たちの希望が叶えられたのである。

先づ展示室でネクタイやその他の織物の展示品を鑑賞してから工場に案内され、児玉常務取締役の説明で、古来 350 年の伝統を守って、特殊な植物の煎汁液で純絹糸を染める染色場や、織機がたくさん並んで、若い熟達した織子たちが、巧みにオサを操っているはた織工場を視察、2 本の手先きから、独特の優

雅な織物がつくり出される光景に、州知事たちは一同感嘆の面持ちであつた。州知事から『賃金はどれ位か？ 一反織るのに何日位かかるか？』などの質問があつた。また、一反の価格はどれ位かとの質問に、3万6千円位から20万円位に及んでいるとの答に、驚きの目を見張つていた。なんでも機械で大量生産することに慣れている州知事たちの目に、一人一人の磨かれた技術と丹精で作りに出される大島つむぎは、最も優れた芸術品と映つたことであろう。

桜 島 観 光

桜島棧橋では、西桜島村長、助役、議長、副議長、収入役等多数の人々の出迎えを受け、チャーター船第8桜島丸に乗船した。2階の展望所から、噴煙を上げている桜島が晴空に浮んで見える。西桜島村長から次のような歓迎の挨拶があつた。

本日はようこそお越し下さいました。アメリカ州知事の皆様が私どもの西桜島村をお訪ね下さいますことを、非常に光榮に思います。皆様が観光のひとときを楽しく過していただくことを、心から希望いたします。

桜島は鹿児島島のシンボルで、東洋のナポリとたたえられております。周囲が約52キロ、面積が約80平方キロ、人口が12,000人の活火山の島であります。私どもの西桜島村

は、前方に見えます溶岩原の左側で、島の全体の $\frac{2}{5}$ の面積を

有し、人口は約7,000人であります。

前方に見えておりますあの溶岩原は、今から 51 年前の 1914 年の噴火により流出した溶岩であり、過去の大噴火の記録でも一番大きく、30 億屯もの溶岩が山の中腹から噴き出し、同時に島の裏側も爆発し、以前は島でありました桜島が、流れ出た溶岩のため、幅 400 メートル、深さ 72 メートルの海峡を埋めて大隅半島とつながり、今では一つの半島となつております。この爆発のため、1,671 戸が溶岩でおしつぶされ、37 人が死亡いたしました。特に前方のあの溶岩の下には、当時桜島で最も栄えておりました横山部落をはじめ、小池、赤水の 3 部落 1,070 戸と、役場、小学校、郵便局等が埋まつております。この爆発のとき私は 17 才の青年で、家を溶岩で奪われたのでありますが、あの爆発のものすごさは、今もはつきりと私の耳目に残つております。しかしながら村民は、この大災害にもめげず村を愛し、復興に努力し、世界で一番大きい桜島大根と、世界で最も小さなみかんを生産し、今は果物の宝島であるといわれております。降りしきる火山灰と戦い、溶岩にいどむ村民の姿は、この火の島を愛する姿なのです。

ただいまご乗船いただいておりますこのフェリー・ポートは、観光的にも産業開発においても、大きな役割を果しておりますが、西桜島で経営しておりますことは、財政的に非常に利点であり、これからも一層開発して、桜島を世界一の大観光地にしたいと思っております。火の島桜島の村民を代表して、心から歓迎申し上げます。

リード知事から次の挨拶があつた。

本日は鹿児島を見せていただき、県民の勤勉さと、すばらしい道路やすばらしい産業に驚いております。

本日桜島に参りました全員は、こんなに近くに活火山をみるということは、始めてだろうと思います。私どもは非常に珍らしく見学させていただいております。

桜島には、世界一大きい桜島大根と、世界一小さい桜島みかんがあることを伺いまして、今ここでその世界一小さな桜島みかんを、非常においしくいただいております。このみかんを思い出して、再び日本を訪問したいと思います。

15分ばかりで袴腰に到着した。岩壁には Welcome!

Delegation of American Governors. Nishi-Sakura jima Village と大書した看板が掲げられた大アーチが建てられ、鹿児島信用金庫職員のブラス・バンドで賑やかに迎えられた。歓迎の花火が晴空にこだましていた。飛び切りの歓迎陣である。レスト・ハウス前でバスに乗り、湯の平展望台に向う。

展望台では、バスを降りて少憩、桜島を咫尺（しせき）の間に眺めながら茶菓の接待を受けた。

午後 4 時 45 分袴腰帰着、棧橋には赤いユニホームの少女鼓笛隊とブラスバンドの演奏で州知事一行を送った。公私多数の見送りは、ローマ字でサヨナラと大書した幕を拡げ、手に手に日米の小国旗を振って送った。五彩のテープが船と陸とをつないだ。船が静かに岸壁を離れると、再び花火が晴空にこだまし、

鼓笛隊とブラスバンドが螢の光を演奏、永年住み馴れた地を離れる時のような、一沫の哀愁を残して桜島と別れた。送る人も送られる人も、陸上と船上で、人影が見えなくなるまでお互いに手を振って別れを惜しんだ。この日の筆者のメモに、演出効果百パーセントと書いてあった。

船中では、有村村長から、溶岩でできた灯籠か州知事たちに贈られた。寺園知事は、終始一行の先頭に立って陣頭指揮をした。

午後 5 時 30 分城山観光ホテルに到着、直ちにロビーで記者会見が行なわれた。概要次の通り。

記 者 会 見

団長リード知事から、次の挨拶があった。

すばらしいご歓待を受け、心からお礼申し上げます。今日はほんとにすばらしいものばかりを見せていただきました。すばらしい道路、桜島、大島つむぎなど、鹿児島県の観光はほんとにすばらしいと思いました。今後一層観光事業に尽力されることを希望いたします。団員一同皆私と同じ思いであると思いますが、皆様の表情から、皆様が心から私どもを歓迎して下さることがよく分かりました。寺園知事さんのすぐれた日程でいろいろ見せていただき、感謝しております。これから皆様のご質問にお答えいたします。

○ 問 鹿児島県の視察で、最も強い印象を受けたのは何か？

○ 答 二つあった。一つは大島つむぎで、これは他に見られな

い優れた技術である。次は天然の美である。『ナポリを見て死ね』という言葉があるが、私はそれ以上に感激した。更に鹿児島の人々が友情に厚いことで、人々は笑顔をもって迎えてくれた。次に日本に来て感じたことは、生産性が高いということである。日米両国は、今後共当然手をつないでゆくべきであると思う。

- 問 何かサジェスションかアドバイがあれば、承わりたい。
- 答 すばらしい自然の美景をもつておられるので、大いに広報に努めるべきだと思う。アメリカには各州に観光振興協会があつて、お互に観光客の誘致に努めているが、このような協会を作つて宣伝されたらよいと思う。

寺園知事主催晩さん会

午後 6 時 30 分から、城山観光ホテルで寺園知事主催の歓迎晩さん会が催され、最初に次のような知事あいさつがあつた。

東京から引き続き緊張した日程で、さぞお疲れのことと思います。今晚はごゆつくりおくつろぎいただきたいと存じます。今晚は街の中ではなしに、この山の上でおもてなしをすることにいたしました。この室と隣の室で、街中と同じような趣好をいたしましたので、ごゆつくり召し上つて下さい。この席におります者は、ご到着のときお出迎えした県庁の幹部で、皆内輪の者ばかりですから、お気がねなくおくつろぎ願います。

モンタナ州バブコツイ知事は次のように応えた。

アメリカ州知事を代表してご挨拶できますことを嬉しく存じます。私の第一の印象は、鹿児島の人々が皆温かい友情に充ちておられるということです。私たちのスケジュールは、今まで大変タイトでしたが、今晩は本当にゆつくりした気分になりました。他の州知事も同じ思いであると存じますが、当地にこんな立派なホテルがあるとは思いませんでした。私はモンタナ州知事として、寺園知事に心から感謝の意を表します。

城山観光ホテルは、東洋のナポリ鹿児島市にある国際的コマースおよびリゾート・ホテルである。水清く波静かな錦江湾、噴煙たえぬ活火山桜島と、市内を一望に眺められる城山の頂上に位置し、市内各駅及び空港から至近距離にある。

館内は、洋室と和室をもち、近代設備をほどこし、特に東洋一の雄大な人工滝を庭園に配した和風グリルは、各方面から注目されている。特にネオンに彩られた鹿児島市の夜景の眺望は絶佳である。

パーティーには、バーベキュー、洋食、すし、テンプラなどの日本食など、多彩な料理が供された。

余興には、琉球舞踊保存会の人々による『仲里節』や『天の川』などの琉球舞踊が紹介された。

この夜のハイライトは、ホールに設けられた特設キャバレー

であつた。誰しもホテル専属のキヤバレーと思ひ込む程巧みな装置であつた。キヤバレーの雰囲気は、正に満点であつた。米州知事を市内のキヤバレーに案内したと醜聞も流れないように、寺園知事苦心の健全娯楽特設キヤバレーとなつたものと思われる。州知事たちは、8時30分の閉会までダンスを踊つて楽しく過した。

僅か半日の鹿児島滞在ではあつたが、誠心こめた歓迎ぶりは、何人も感動されずにはおかない程のものであつた。『鹿児島の思い出』『アメリカ州知事一行県内視察要領』などというパンフレットが配られたが、これらには歓迎の手順が最大洩れなく記入され、いかに万全の準備が整えられたかを想像することができた。アメリカ州知事たちが、いかに好印象を得たか想像に難くない。九州初の訪問県鹿児島の印象は、満点であつた。

新 聞 報 道

南日本新聞

日本視察の第一歩

米州知事ら鹿児島入り。

アメリカの州知事一行10人が、25日鹿児島入りした。一行は日米知事会議出席のため来日、22日に東京で開かれた同知事会議に出席したあと、鹿児島をふり出しに日本の各地を視察するため、同日午後1時着の全日空機で来鹿したもの。県庁訪問後、桜島に渡つて観光鹿児島の秋を満喫したが、準国賓なみの空港の歓迎、西桜島村民あげてのもてなしに一同は大喜び

だった。

一方、夕刻から城山観光ホテルで行なわれた歓迎レセプションに先立ち、ジョージア州知事と寺園知事、それに鯨島本社編集局長、牧秀司氏らが会ってジョージア州と鹿児島県の姉妹州県の話を進めたところ、双方とも非常な乗り気で、実現への協力を約束しあうこともできて、(11面参照)日米親善にとつても画期的な1日だった。一行は同夜城山観光ホテルで一泊。26日午前8時20分発の全日空機で宮崎市へ向かう。

メンバーは、アメリカ全国知事会会長でメイン州のジョン・H・リード氏(44)＝共和党＝(以下省略)の各州知事。随行としてブレバード・クリフィールド同国知事会事務局長、日本側から宮内全国知事会事務局長らが同行した。空港には寺園知事、三ツ井鹿児島市長、羽牟鹿県議会議長代理、福田鹿大学長、(鹿児島県日米協会会長)岩元鹿商工会議所副会頭らが出迎え、県庁へ直行。知事室で寺園知事から県政の概要を聞いたあと、久野つむぎ工場、磯公園を経て、フェリーボートで桜島へ渡った。同夜は県、同議会、鹿児島市、商工会議所、県日米協会主催のレセプションで、地元政財界人首脳と交歓親善、民謡、剣舞などを楽しんだ。なお一行は、桜島観光のあと同ホテルで記者会見を行ない、代表のリード氏が次のとおり語った。

われわれは日米知事会議のあと日本の地方を見て、日本を理解するためやってきた。その最初の訪問地として、鹿児島にきたことはうれしかった。美しい自然、人々の暖かい歓迎に感謝している。鹿児島ですばらしい芸術品大島つむぎ、雄大な桜島

桜島が印象的だった。鹿児島はこの天然の美を世界中に知らせ、観光によつて発展することを期待する。日本の技術、生産力におどろかされるとともに、このような能力のある日本を、アジアの協力者とする事は、意義のあることだ。

“かるかん”で一服。

来鹿したアメリカの州知事一行は、空港で鹿児島信用金庫の演奏するマーチ“ミリタリー・エスコート”と同バンドガールの出迎えにまずニツコリ。気軽に手をふつてこたえた。知事室では、緑茶と“かるかん”で一服。寺園知事から錫のコップをもらつて大喜び。代表でハワイ州のジョン・A・バーンズ氏が『暖かい気候、美しい自然、さかんな歓迎……いづれもわがハワイと同じだ』とユーモアをまじえてあいさつすれば、ロードアイランド州のジョン・H・チャファイ知事は『寺園知事は3選と聞くがその秘密は何か』と質問、『さあ、わたしより選挙に強い人がいなかっただけでしょう』と知事が軽く受け、一同をわらわせた。

桜島へ渡る船上では、噴火の歴史、桜島ダイコンの話などを有村西桜島村村長から聞き、“島のミカン”をほおぼつていたが、リード団長は、同村の歓待にこたえ『世界一大きい桜島ダイコンと世界一小さい島ミカンの思い出は、将来忘れることができない。また、鹿児島にやつてきたい』とユーモアをまじえて語つた。久野つむぎ工場では、つむぎの製造工程をくわしく聞いていたバーンズハワイ州知事が『手織の大島つむぎこそ、真の芸術品だ』とすつかり感嘆。織り子さんたちと仲よく握手

していた。

南日本新聞 10月26日

姉妹県で交流を深く

米国ジョージア州 ～ 鹿児島県

近く盟約を確認

農業の研修生の派遣も計画

アメリカ南部ジョージア州に、鹿児島県から農業研修生を派遣して、友好のきずなを深め、将来『姉妹州県』の盟約までこぎつけようという話が、25日鹿児島を訪れた同州知事と出迎える寺園知事、本社の鮫島編集局長らの間で再確認され、具体的なプランをこんご積極的にすすめることを申し合わせた。

ジョージア州は『風とともに去りぬ』のマーガレット・ミッチェルを生んだアメリカ中南部の州で、かつて南北戦争の激戦が行なわれたところ。一昨年秋、本社の鮫島編集局長は、寺園知事からカール・サンダース同州知事にあてた親善メツセージをたずさえて、同州アトランタ市を訪問し、同じ南部の州と県同士、互に友好関係を深めようと提案した。

寺園知事のメツセージは『鹿児島県とジョージア州はともに気候や自然環境も似通っているうえ、かつて「内戦」の舞台となつたこともあり、歴史的な背景も似ている。互に「姉妹州県」のプランを検討しましょう』というもの。

鮫島本社編集局長が同市を訪問した時、サンダース知事はあいにく不在だつたため、同市のイブアン・アレン市長や、アトランタ・コンステイチュート紙のユージン・パターソン編集長

らにこの話を提案、いずれも『グッド・アイデア』と大乗り気だった。25日サンダース知事が日本訪問全米知事使節団の一行として来鹿したのを機会に、寺園知事と鮫島局長から正式に、『姉妹州県』のプランがサンダース氏に提案されたもの。

鮫島局長は2年前、サンダース知事秘書に託したメツセージに加えて、さらに『姉妹州県』盟約への準備として次のような具体的なプランを出した。

① 鹿児島とジョージア州はどつちも自然環境の似た農業国であり、歴史的な背景、質実剛健な『お国ぶり』も似ている。精神的、文化的な交流もこんご盛んにしよう。

② ジョージア州立大学を中心として農業振興に力を入れ、特に養鶏は全米生産の半分以上を占めるほどの高い水準にある。畜産振興を目標としているのは同様だが、鹿児島はまだ非常に立ち遅れている。鹿児島から州立大学に農業研修生を派遣するなどして指導をあおぎたい。

③ またアトランタ・コンステイチュート紙と、本紙との交流を深め『シスター・ペーパー』を結んで姉妹州県の橋渡しをとめたい。

④ ジョージアに帰任したらこのようなプランを含めた『姉妹州県』のアイデアを関係者にはかつて、州民のよろんを盛り上げてほしい。

これらの提案に対して、サンダース知事は『西南戦争の西郷隆盛はよく知っています。さしずめジョージアで言えばリー將軍（南北戦争の南軍総指揮官）ですね』とひざを乗り出し、い

ずれも大賛成。農業研修生については、現地で実習に従事して滞在費をかせぐ――などの具体策も出た。しかし一行は26日早朝には鹿児島を出発するという強行スケジュールのため、くわしい意見は手紙で交換することになり、この日は『姉妹都市盟約をめざしてお互に努力すること』を、正式に寺園知事との間で確認するだけにとどまった。

このあと鮫島局長はアトランタの印象を記した著書『日本人の考え方』をサンダース氏にプレゼント、また、この運動に熱心なユージン・パターソン氏、同州の『人間関係をよくする大アトランタ評議会』のメンバー、メリー・キング女史にも一冊ずつ託した。なおこの日は、日置郡市来町出身の牧秀司も同席、牧氏が当分情報交換役を引き受けることになった。

鹿児島県 ～ 宮崎県

10月26日（火） 第7日

晴のち曇り。午前7時35分ハイヤーを連ね城山観光ホテル発、鹿児島空港に向かう。一行は空港貴賓室に案内され、寺園知事の挨拶を受けたあと、多数の県、市、民間関係者と、鹿児島交通ガイド嬢のブラスバンドの一隊の演奏に送られて、全日空212便に搭乗した。飛行機は、大阪から来た時と同じ40人乗り位のターボプロップ機であった。機は定刻午前8時35分宮崎空港に着陸した。リード団長に続いて一行が飛行機のタ

ラップを降りると、黒木知事を始め県幹部職員が待機、ひとりひとり堅い握手を交わしたあと、県女子職員から、曲玉のレイを首からかけてもらったのち、団長リード知事に、和服の麗人から花束が贈られた。黒木知事の歓迎の挨拶に続いてリード知事から、『黒木知事始め多数の皆様のお出迎えをいただき、本当にありがとうございました。美しい花束やレイは、国へのお土産にしたいと思います。バンドの皆様その他の方々にも、厚くお礼申し上げます。』と挨拶があつた。一行は、バンドの演奏に迎えられ、待機していたハイヤーに分乗して、直ちに宮崎県庁に向つた。

宮 崎 県 庁 訪 問

自動車パレードか県庁玄関先に到着するや、一同直ちに記念撮影をして、知事室に案内された。玄関を入ると、アメリカ合衆国の大地図が描かれた中に、10州の知事の写真がそれぞれの州の位置にはめ込まれた大パネルが掲げられ、手際のよい歓迎に一行は大喜び、満足の微笑を浮べていた。

知事室の各州知事のテーブルの上には、英文の大部の資料が配られていたが、日本人側には日本語で、次のような資料が配布された。

1. 順路のしおり、2. 宮崎県の現状、3. 県政要覧、4. SAPのしおり、5. 宮崎県の河川総合開発、6. 観光パンフレット（含聖火）、7. その他美しい色彩印刷の観光資料や絵はがきなど。これだけの資料を整備するだけでも、ばく大な労

力と時間を要したことと思われるが、特に“Tour Guide”はすばらしい印刷物で、『御視察のしおり』は経過地点ごとに詳細な説明が記入され、綿密な歓迎計画がうかがえるのであった。黒木知事から大要次のような挨拶があつた。

黒 木 知 事 接 拶

この前第2回日米知事会議が開催されました際は、私どもは多くの知識を与えていただき、わが県政の上にも反映させることができました。今回はさる22日東京で行なわれた会議に引き続き、はるばる宮崎県ご視察のためご訪問いただき、うれしく存じております。

空港で皆様にさし上げましたレイは、今から2千年以上以前に、日本の高貴な方々が用いられていたものを、そのまま現代の技術で再現したものでありまして、歓迎のしるしにお贈りいたしました。

わが宮崎県は、面積7,700平方キロで、全国の県では13番目にあり、人口は110万であります。産業の占める割合は、農林、水産業52%、商工業16%、その他32%とむしろ農業県であります。今後は工業と産業を振興して、バランスのとれたものにしたいと、鋭意努力しております。

宮崎県は、古い歴史と伝統をもち、日本の発祥地として、各地に神話や伝説を止め、また、民芸、民謡等がたくさん残っております。宮崎県は、太陽と緑の国 = 今日ちよつと

太陽が出ていませんが = でありまして、飛行機も7往復して、年間200万以上の観光客を運んで来ております。特に新婚旅行者が非常に多いのでありますが、このことは宮崎県がたいへん住みよいからだと存じます。

今日はお疲れのことと思いますが、あちこちご案内いたし、また、いろいろお教えいただきたいと存じております。お話ししたいことは山程ありますが、詳細はお配りした資料によつていただきたいと存じます。

続いて観光映画「みやざき」が上映された。総天然色で、古来の風俗、習慣、伝説等を伝えるとともに、近代産業を紹介し、まれに見るすばらしい映画であつた。

バーモント州 ホフ知事挨拶（要旨）

温かい歓迎を受け、黒木知事に心から感謝いたします。天気の悪いことは止むを得ないことです。

いま映画をみせてもらいましたが、古いものと新しいものが、非常によく映つていて、撮影技術もすばらしいものでありました。私は、こんな立派な写真の撮れる日本のカメラを買つて帰りたいと思います。街の広さや建築物の美しさにも心打たれました。最後に50州のマークが入り、10名の知事が署名したスクロールを、お贈りしたいと存じます。

高等営農研修所視察

約 1 時間 20 分の宮崎県庁公式訪問ののち、午前 10 時 20 分バスにて県庁出発、高等営農研修所視察に向つた。約 50 分のドライブで、この往路は黒木知事自からマイクを通じて説明にあつた。概要次の通り。

ドライブ中黒木知事説明の要旨

美人のガイド嬢がおりますが、行きは専ら私が説明いたしたいと思います。先ず宮崎市の人口は、約 17 万 5 千であります。宮崎と貴国と大変深い関係のあつたことがありますので、それをお話しいたします。1892 年にシ・エ・クラーク氏夫妻がキリスト伝道のため宮崎に来られました。クラーク氏はその後 31 年間日向に送つた人ではありますが、この人が宮崎に、米国から始めて自転車を紹介しました。この人は教会や盲人学校や女子の学校を創立し、文化の伝達と社会事業に多大の貢献をされました。

ご覧のように広大な水田は、豊かな黄金の波を打つておりますが、この稲は大部分、人々の手で苗を植えているものであります。日本でも毎年農業人口が減少しておりますので、農業の機械化に努力しています。

点々と白いものが見えますが、あれはビニール・ハウスで、キュウリやトマトを栽培しています。本県は気温が高いので、ハウスの栽培に適しています。

左前方の田の中の建物は、日本大学の附属高等学校です。

この道路は、国道 10 号線で、今年 35 億円を計上し、全線 180 キロの舗装をすることになっております。私は街の中はバイパスにしたいと思っております。農村に工場を誘致して、農村の労働力を使う計画を立てています。あちらに見える建物は、松下電機の工場で、日本技研の工場もあります。

この川の上流に四つの発電所があり、22 万キロ発電しています。全県で 70 万キロ発電していますが、うち県営は 12 万キロです。電力の大部分は、北九州に送られています。

市中にバイパスを造ることが、知事の大きな仕事のひとつになっています。ご覧のように、道路の両側に花などが植えてありますが、あれは私の念願である美しい道路造りに協力してくれているのです。この川は小九川で、上流に 4 カ所発電所があり、7 万キロ発電しています。

黒木知事は、高等営農研修所到着までの 50 分間、精力的に説明し続けたが、卒先陣頭に立つて説明する真しな態度には、アメリカ州知事一行もいたく感激した様子だった。

午前 11 時頃から、黒木知事の先導で、県高等営農研修所を視察した。到着すると直ちに州知事一行に SAP のバッジが渡され、1 日会員となった。庭に張った天幕の中で、森福俊所長から約 20 分間事業概要の説明があつた。要旨次の通りである。

この高等営農研修所は、農業のパイオニアとして、中堅

営農者の養成と農村青年の研修センターとして設けられたものである。農村青少年の勤労意欲の醸成と、農業経営に必要な知識と技術を教育し、将来の農業経営の中堅営農者を養成することを目的とし、また、昭和37年4月以来県民運動として推進中のSAP運動（Study for Agricultural Prosperity …… 農業繁栄への学修活動）の中央センターでもある。昭和37年5月、皇太子同妃両殿下が視察された。

用地面積は、構内敷地15ヘクタール、畑90ヘクタール、その他21.1ヘクタール、計126.1ヘクタールである。建物の主なるものは、営農研修所、青年の家、農村青年研修館、機械営農研修館、生活近代化センター等である。このほか自立経営実験農家として、母屋、畜舎、作業倉庫等がある。

職員は、所長以下42名で、生徒は、一年生220名、2年生113名、専攻科生9名である。昭和39年までの研修所修了生は、男女合わせて2,363名である。外に短期講習を実施し、年間凡そ9,000名が教育を受けている。

説明を聞いたのち豚舎に案内された。豚舎とは思われない程清潔で、ベルモン知事などは、子豚を抱き上げてよろこんでいた。ついで女生徒がトラクターを運転している姿に興味を覚えたらしく、その生徒と写真に撮ってもらったりしていた。

帰途、畑の中に散在する持田古墳群を視察した。

バスでホテルへの帰途、50才ばかりの朴訥な農夫が乗りこんで来て、一行を驚かせた。黒木知事の説明によるとこの農夫

は、この地方の篤農家で斉藤氏といった。白い着物は、麻で出来ていて、農夫の作業衣であつた。古来から伝承されているという歌を四つ歌つたが、その美声は州知事たちを感嘆させるに十分であつた。それより以上にわれわれは、黒木知事の巧みな演出に兜を脱いだ。

宮崎観光ホテルに戻つて昼食を済ませてから、午後は次の個所を訪問した。宮崎観光ホテルは、大淀川に望み、ハニームーン向きの静かなリバー・サイド・ホテルである。ゆつたりと流れる川面に夕映えを浮べ、静かに暮れゆく景色は、何ともいいようもない。

宮 崎 神 宮 参 拝

正殿に神武天皇を祀るこの社は、旧官幣大社で、明治40年に宮崎県狭野の杉を用いて建立されたものだという。団長リーダー知事と黒木知事は、揃つて神前に額ずき、玉串を奉てんしてから、一同とともに浦安の舞を拝観した。

平 和 台 公 園

一行は続いて平和台公園を訪問した。高い石段を登つてゆくと、高さ37メートル、八紘一宇と大書した石の塔がそびえている。平和の塔といつて、昭和15年11月、紀元2,600年記念事業として建立されたものである。礎石のうち1,898個は、国内およびペルー、ブラジル、カナダ、中国等諸外国の同胞から寄贈されたものである。昨年オリンピック東京大会の際、

聖火を点じた聖火台には、特にアメリカ州知事一行を歓迎して、火が点じられていた。一行は平和の塔を一周してから、階段を下りて『臼太鼓踊り』を見物した。この踊りは、西都市上穂北地方に伝わるもので、臼のような大きな太鼓を胸に吊して、打ち鳴らしながら踊るので、臼太鼓踊りの名が生まれた。この地方では旧八朔の氏神祭や雨乞いなどに催されるものである。

平和台公園に続いて、はにわ園を訪問した。古代のはにわが立ち並ぶ静かな園内を歩いていると、そぞろに日本の太古が偲ばれて、興味深いものがあつた。このはにわ園は、神話や伝説に富む宮崎県の古典的な姿を再現しようとして造られたもので、園内にはおよそ400基のはにわが建てられている。州知事たちは、はにわと並んで記念の撮影をした。

子 供 の 国

はにわ園から続いて子供の国を訪問した。蘇鉄の森や芭蕉の谷、竜舌蘭の丘やフェニツスの林などの亜熱帯植物の群落があり、向いの丘の上を駱駝が3頭悠然と歩いている。日本を離れてどこか遠い南国を訪れたような感じである。さまざまな南国の鳥の檻や五彩の橋、遊戯施設もあり、子供にも大人にも好適の遊園である。子供の国は宮崎交通株式会社社長岩切章太郎氏の構想によるもので、同社が経営している。岩切氏は、自から州知事一行を歓迎してくれた。

園内の広場で、郷土舞踊『泰平踊』を見せてもらった。この舞踊は、元祿の初めから伝わるもので、飢肥藩の一大行事とし

て毎年盂蘭盆に催されたものだという。この日州知事一行を歓迎して、郷土舞踊保存会の人々によつて演ぜられた特別公演だったのである。次に泰平踊の由来について、説明文の一節を抄記する。

『その日は藩公の祖先をまつる報恩寺の広庭で、城下の15才から18才までの士族の若衆が義士打入りの勢揃いをして、藩士の肝入りで、藩公の面前で、格式をもつて踊ることになっていた。やがて宝永4年一般町民にも公然と踊ることを許したため、非常に盛んになったと伝えられる。

踊りは野外の広い場所で、現在は35名位で踊られ、舞の手はすべて武芸18番を型どり、優雅ななかにも武士らしい気力をしのばせ、城下町の尚古的気風を表徴している。』

特別にしつらえた天幕の中で、コカコーラを飲みながら、優雅なこの踊りを観賞させてもらつた。10月も終りというに、さすがに南国の太陽は額に汗をかかせるほどであつた。

シヤンシヤン馬

子供の国から州知事一行は、バスでフェニックス・ドライブインに向う。途中の堀切峠は、日南海岸のうちで最も景勝の地といわれるだけあつて、風景絶佳である。フェニックス・ドライブインに着く。海岸の右手に洋館の建物があつたが、これがドライブインらしい。眼下に太平洋を臨み、背後に南国の木々の茂る山を控え、美しい風景である。フェニックス・ドライブインとはずい分モダンな名前をつけたものだと思う。試みに英

和辞典で探してみると、エジプトの神話に出てくる不死鳥とだけあった。宮崎県庁の人に聞いてみると、椰子の一種の木の学名であるらしい。辞書にはそのような意味は見当らなかつた。ここはこの日の最後の訪問地である。太陽は西に傾いていた。この頃忽えんとしてチョンマゲ姿の馬子に曳かれた馬に乗って花嫁が現われた。これがシヤンシヤン馬である。この日たくさんの郷土舞踊を見せてもらつたが、ラストシーンにシヤンシヤン馬の登場は、まさに圧巻ともいふべきものであつた。州知事たちはこもごもこの古風な花嫁花婿と一緒に写真をとつてもらつていた。シヤンシヤン馬の起源について、説明資料から引用する。

『昔宮崎地方では、新婚の夫婦は必ず鶴戸神宮参りをする習慣があつた（明治初年まで続いていた）。宮崎から内海までは平坦な道路で徒歩でもわけはないが、内海以南は、七浦七峠と称する難道である。往路は新郎新婦手に手を取つて無事に参詣をすませたものの、帰路には花嫁の脚では無理で、親族たちは馬を曳いて途中まで出迎え、旅に疲れた花嫁を再び盛装させて馬背に乗せ、花婿に手綱をとらせて帰るのが例であつた。この美しい情景の話題にのこるのがシヤンシヤン馬の物語りである。

語源は、馬首につけた鈴の音であつた。』

黒木知事主催歓迎晩さん会

午後 7 時半から宮崎観光ホテル別館で、黒木知事主催の晩さん

ん会が開催された。洋館の本館の隣りの和室で、大広間に円テーブルが並べられ、山海の珍味と宮崎の美妓にもてなされた。開会にあたり議会議長、宮崎市長その他県幹部の紹介があつてから、次のような黒木知事の挨拶があつた。

今日は皆様お疲れのところ、愉快にご視察いただきましてありがとうございました。

私どもは本夕純日本式で皆様をおもてなしすることにいたしました。山海の珍味を集めました。皆様は生活風土など異つておりますので、どうぞお口に合いますようにと念願しております。あとで舞踊をお目にかけますから、ごゆつくりご鑑賞いただきたいと思います。

一行を代表してチャファイ知事が次のように挨拶した。

黒木知事さま、その他ご列席の各位、本日は非常に温かいご歓待をいただき、州知事一同に代り、厚くお礼申し上げます。御地は殊に美しく、すばらしい将来が約束されていると思います。州に帰りましたら、大いに宣伝したいと思います。今日いろいろのところを見せていただきましたが、平和台公園や子どもの国で、各種の舞踊を見せていただきましたことが、印象的でした。

飛行場に到着してバンドに迎えられましてから、非常なご歓待をいただき、お礼の言葉もありません。

両知事の挨拶の交換が終ってから、例によつて団長リード知事を先頭に、一人一人の州知事から、黒木知事に土産物が渡された。

美妓の踊りを鑑賞し、歓を尽して午後9時半閉会したが、団長リード知事、ベルモン知事、バーンズ知事は、記者座談会に出席、残りの州知事は茶の湯に招待された。

宮崎観光ホテル宿泊。

新聞報道

(宮崎日々新聞) 10月27日

県下各地を視察

米州知事ら一行10人

東京でさきほど開いた日米知事会議に出席したジョン・H・リード・メイン州知事ら10人が、26日午前8時45分宮崎空港着の全日空機で本県を訪れた。米州知事一行は、日米知事会議のあと数班に分かれて全国各地を親善視察している。

一行は宮崎空港で黒木知事らの出迎えを受け、県庁で同知事から本県のあらましを聞いたあと、本県の紹介カラー映画『みやざき』＝上映時間35分・英語版＝を観覧、『宮崎の古さと新しさに腰を打たれた』と称賛した。

このあと、黒木知事らの案内で県高等営農研修所を視察、午後から宮崎観光ホテルでの記者会見のあと、宮崎神宮で浦安の舞い、県立博物館を見学、平和台、子供の国、フェニックス・ドライブインを観光した。夜は同観光ホテルで黒木知事主催の

晩さん会が行なわれた。一行は 27 日午前 8 時 55 分宮崎駅発の上り特急『いそかぜ』で大分へ向う。

『すばらしい色彩と施設』

リード団長が記者会見

本県を親善視察している米国州知事一行のジョン・H・リード団長（メイン州知事）は 27 日午後 1 時 40 分から宮崎市、宮崎観光ホテルで記者会見し、次のように語った。

黒木知事をはじめ県民のあたたかい歓迎を受けて心から感激している。まず県庁の建て物を見て清潔で能率的に造られていると思った。私のメイン州もパルプ産業に次いで観光フィルムをつくったが、宮崎県のようなすばらしい色彩感に満ちたものはなかった。

農村地帯を案内してもらって感激した。私自身も百姓だったし、メイン州もジャガ芋の産地だ。メイン州では 10 年前から冷凍食品が普及しており、宮崎県も冷凍食品化を考えてはどうか。

教育施設（注・県高等営農研修所）が完備しているのに感心した。米国では同じような県立の教育施設はない。とくに豚舎がすばらしかった。米国でも農業の機械化、合理化が叫ばれているが、宮崎県ではそれに先がけて教育施設をつくっている。

非常な先見の明だと思う。

私個人の考えでは農業、観光をさておき、産業誘致が一番重要だと思う。私は産業誘致のセールスマンといわれているが、黒木知事もなかなか努力されているようだ。

日本の地方行政をみると、道路の改良の余地が相当残されているのではないか。観光にとつても道路は重要なもので、米国では州の責任で道路の整備を進めている。

宮崎県 ～ 大分県

10月27日（木） 第8日

曇のち晴。

午前8時30分、多数宮崎県、市関係者やホテル従業員に送られ、ハイヤーを連ねて宮崎観光ホテル発、宮崎駅に向かう。

駅には黒木知事を始め、多数県市幹部職員が見送った。列車がプラットホームに入ると、バンドが螢の光を演奏、州知事たちは、見送りの人々と堅い握手を交し、別れを惜しみながら車中の人となった。

この時意外な風景が展開した。見送り人の前列にいたきのう一日ガイドをした2人の女性が、ハンカチを顔におしあてて嗚咽し始めたのである。窓際の州知事は腰を掛け、反対側の人人は立って窓辺に寄っていたが、この光景に感激に打たれたように誰一人言葉を発する者もなかった。女性の眸は涙に濡れていた。汽車は滑り出し、ホームの見送り人の群は視界から次第に遠のき、やがて見えなくなってしまうが、列車の中の州知事たちは、たつた今の情景を回想するかのようになり、しばらく言葉を交わす者もなかった。

二人の女性は、秋田久美子さんと安部宮仁子さんといって、秋田さんは宮崎交通労務課に勤務し、安部宮さんは同じ会社の別府観光案内所に勤務している、いずれも容姿端麗な大和撫子である。

きのう一日この二人の女性は、巧みな英語で説明したり、美

しい声で民謡を歌ったりして真剣な努力を傾け、州知事一行に多大の感銘を与えたのであつた。聞くところによると二人は、この日のために一カ月間、寝食を忘れてガイド練習をしたのだそうである。平素会社の一般事務に従事していて、突然ガイドという専門の仕事をさせられたので、その労苦の程もさこそと推察されるのである。いよいよ州知事一行を送ることになり、張り詰めた気力が一度に放散し、使命を果たした満足感と空虚感とが、彼女たちに涙を誘つたものと思われる。そして彼女たちの涙は、いかに彼女たちが真剣な努力をしたかの証左であり、そしてまた彼女たちの純情を物語るものである。この純情が異国の人々の胸を打つたのである。

11月2日夜帝国ホテルでの歓送晩さん会の席上メイン州リード知事は、訪日中最も深い感銘を受けた事柄として、宮崎での秋田、安部宮両嬢の涙の歓送を挙げて、絶賛していた。純情な2人の乙女の涙は、国際親善のうえにも多大の貢献をしたのである。

午後零時12分、特急いそかぜは大分駅に着いた。この頃天気全く清朗、絶好の視察日和となつた。駅のプラットホームには、木下知事始め県幹部職員多数が出迎え、バンドの演奏で歓迎を受け、直ちに団長リード知事に美しく着飾つた令嬢から、花束が贈られた。一行は木下知事の誘導でバスに搭乗、三洋本館レストランに向かつた。

三洋本館で昼食を済ましてから、バスで大分県庁を訪問した。

大 分 県 庁 訪 問

県庁玄関前には全職員が待機し、再びバンドの演奏でにぎやかに迎えられ、直ちに州知事一行は、4階の知事応接室に案内された。庁舎は3年前建築されたばかりで、美しい建物であった。木下知事の別項の挨拶が英語でなされたのち、同知事から木製の盆が土産品として州知事に贈られた。

木 下 知 事 挨 拶

皆様ようこそご来県下さいました。120万県民を代表して、心から歓迎申し上げます。先般ライシヤワー大使が来県されましたが、今般続いて10名の州知事の皆様の重ねてのご訪問をいただき、喜んでおる次第であります。

当大分県は、車窓からもご覧のとおり、瀬戸内海に面する農林漁業県です。1955年私が知事になりましてから10年、この間農工併進施策をかかげて努力してきました。具体的には大分を東九州開発の基地とし、臨海工業地帯の造成を推進、石油と鉄を基幹とする重化学工業を誘致することでありまして、将来進出が決定した諸企業のうち、九州では初めての石油精製工場は、すでに操業しています。

これらの企業の中には、アメリカ資本の参加が予定されているものもありますので、ぜひご視察たまわりたいと存じます。

また、当県は、地勢が複雑で、けわしい山岳と深い溪谷を

もち、日本的な山水の美と清冽な水の流れを誇っています。
温泉の多いこともまた世界有数です。

別府は「東洋のナポリ」と呼ばれていますが、私としては、
衛生的な休養都市として建設していきたいと考えています。

この別府を起点として、飯田高原、阿蘇を経て、熊本、雲
仙、長崎へ通ずる九州横断道路も昨年 10 月完成しています。

滞在のご日程が短かいため、県内各地のご視察は無理かと
存じますが、可能な限りご覧いただき、皆さまの視察旅行に、
より好ましい印象を添えたいものと心から希望しております。

臨 海 工 業 地 視 察

知事の県政説明があつてから一行は、バンドと全職員の拍手
に送られて、バスで臨海工業地の視察に向つた。

海岸の鉄搭の上で辰己建設局長の説明を聞いた。見渡す限り
砂原のこの埋立地は、面積 51 万坪あつて、すべてドレッジン
ク（しゅんせつ）によつて造成されたものである。明年から工
場等の建設を始め、3 年間で完成の予定であると説明された。

新聞記者が、アメリカにも埋立地があるかと質問したのに対
しリード知事は、フロリダには埋立地が観光目的のため造成さ
れているが、その他はあまり聞かないと答えた。

大分生態水族館と別府産業工芸試験所視察

午後 3 時 20 分大分市高崎山下海岸のマリーン・バレス着、大分生態水族館を訪問した。広大な円形の水槽に 3000 尾の魚が充満し、それらが一定の方向に忙がしそうに走っている。どれもこれも追越されまいとして懸命に走っているかのようだ。途中で道草を食ったり、反対方向に泳いでいるのは一匹もいない不思議な光景である。水槽の水も一定の方向に潮流のように奔流している。やがてアクアラングを着けた美女が現われて魚に餌をやった。魚の群が餌籠に襲いかかり、たちまち平げてしまった。外から見ていると、お凞の国の人形のものであつた。東京にもこれ位の水族館がほしいものだと思つた。

次に大分県立別府産業工芸試験場を視察した。人間の手が作り出すことのできる最もせん細巧緻な竹の芸術品が、陳列室に並べてあつた。ここの製品は、機械でマスプロされるものではない。一つ一つ根気と熟練によつて作り出される芸術品である。製品を鑑賞してから工場を見学、子細に製作工程を見て廻つた。帰京してから「孫の手」の送付を受けたので、それぞれアメリカ州知事に送つた。

このあとバスで別府地獄めぐりのうちの「海地獄」を訪問した。時間の都合で「血の池地獄」は割愛した。青い池に鶏卵が籠に入れて、吊り下げてあつた。つまり池の温度は、卵がうだる熱さなのである。池の縁は、修学旅行の学生で埋まつていた。経営者の好意で、池畔に席が設けられ、コカコーラやうで卵や

おまん頭が供された。

かくして第 8 日目も終り、夕刻宿舎杉乃井ホテルに到着、記者会見や木下知事主催の晩さん会が催された。

記 者 会 見

午後 5 時 20 分から、杉乃井ホテルで記者会見が行なわれ、木下知事とバーモント州ホフ知事が出席した。会見の概要は次のとおりである。

○日本の観光事業についてご意見を承わりたい。

私は日本人の西洋化、殊に東京の西洋化に関心をもっている。そして歴史的遺跡等が失なわれているのが残念である。九州の景色のよいことは信じられない程であるが、将来の計画では、歴史的、文化的遺跡をこわさないように希望する。私の州にもイエロー・ストーン国立公園があるが、別府の観光客の多いのに驚いている。たくさんの学童が、容易に自然的、歴史的遺跡に接し得るようにしたい。

○日本の公害についてどう考えるか。

日本もアメリカも、基本的には同じようである。日本の都市やその周辺に問題が起きているように、アメリカでも起きている。

○日本の公害対策をどう思うか。

日本もアメリカも大体同じであるが、将来は両国とも、もつと公害対策に力を入れるべきであると思う。

○日本の3割地方自治についてご意見を承わりたい。

私は日本の地方自治については、口を入れたくない。アメリカでも、中央政府が州に補助金を出しているが、それはやはり問題になっている。政府は課税権をもっているので、地方政府は中央に頼るようになる。

木下知事主催晩さん会

午後6時から杉乃井ホテル大広間「九重の間」で、木下知事主催の晩さん会が開催され、州知事たちは、ゆかた着のくつろいだ姿で出席、初めての和服に、大満悦であった。始めに次のような木下知事の挨拶があった。

今日はタイトな日程で、皆様大変お疲れのことと存じます。また今晚は、日本式の宴会でご窮屈と思いますが、どうぞご自由な姿勢で、おくつろぎいただきたいと存じます。

この料理は、生魚特にふぐであります。3年前ドイツの大統領一行が来られました際にも差し上げましたので、どうぞ安心して召し上つていただきたいと存じます。日本では、ふぐ程美味しい魚はないといわれておりますが、そのふぐは、下関と別府だけの特産なのであります。

続いてミシガン州ロムニー知事が、州知事一同を代表して、大要次のような挨拶をした。

ただ今木下知事さんからご挨拶をいただき、ありがとうございます

いました。

私どもは当地を訪問して、知事さんの温顔に接し、本国に帰ったような気持になりました。浴衣姿で日本式の宴席に招かれましたことは、私ども始めてでありますので、どうかこの光景を写真に撮っていたゞきたいと思えます。

大分県にはたくさんの温泉がありますが、私どもイエロー・ストーン国立公園にもありまして、大変親し味を覚えます。大分県は、他の県に遅れている点もあるそうですが、木下知事さんのリーダーシップは、必ず他の県を凌駕されることと思えます。それに、知事さんは、貧しい人にも非常に同情を示されますので、知事さんの政策に反対する人は、一人もないと思えます。

ロムニー知事の挨拶ののち、例によつてリード団長を先頭に
一列縦隊を作り、一人一人土産物を木下知事に渡したが、愛釣家の知事は、オクラホマ知事からの釣竿の贈物が、殊の外気に入ったようであつた。

「荒城の月」などの踊りがあつてから、州知事を交えて
「炭坑節」や「野球拳」などを賑やかに踊つて、午後7時半散会した。

杉乃井ホテル宿泊。

新 聞 報 道

大分合同新聞（10月28日）

すばらしい工業公園構想

米国州知事一行が来県

日米知事会議で来日したアメリカの州知事一行 10 人は、27 日午後零時 12 分大分駅着の特急『いそかぜ』で宮崎県から大分入り、大分臨工地帯 2 号地、マリーンパレス、大分県別府産業工芸試験所などを視察し、宿舎杉乃井ホテルに入った。

一行はジョン・H・リード氏（米国知事会会長、メイン州知事）を団長とし、大分県で木下知事、田島大分市助役らの出迎えを受けた。市内『三洋』で昼食のあと、午後 1 時半、大分県庁を公式訪問した。一行は県庁玄関口で約 1500 人の県職員の拍手と県庁ブラスバンドの歓迎マーチを受け、盛んに手をふって歓迎にこたえていた。

貴賓室で木下知事が英語で『大分県政の概要』を説明、辰己新産都建設局長が臨工地帯の説明をしたあと、木下知事が記念品を贈った。

大分臨工地帯 2 号地の視察では、一行は埋め立て事業による工場誘致に目をみはり、木下知事の政治手腕をユーモアたつぷりにほめあげ、企業誘致と公共投資の関係なども質問していた。

宿舎杉乃井ホテルでは午後 6 時から木下知事主催の歓迎晩さん会を催し、日米親善のひとつきを過ぎた。一行は 28 日朝 8 時、宿舎を出発、九州横断道路をへて熊本入りする。

一行を代表してバーモント州知事フィリップ・H・ホフ氏が杉乃井ホテルで記者会見し、大分県の印象などについて次のとおり語った。

1. 木下知事のあたたかいもてなしにみんな非常に感激している。木下知事ら県関係者による大分のインダストリアル・パーク建設構想は非常にすばらしい。道路が広くとつてあるのがとくに印象的だつた。かつて自動車関係の仕事にたずさわっていたミシガン州のロムニー知事が、大分臨海工業地帯の道路計画はまったく理想的だと激賞していた。

1. バーモント州も観光政策に力を入れているが、大分県はバーモント州に劣らないほど観光政策が充実していると思う。県の観光パンフレットをいたゞいたが、米国であまり見られない程見事なものだ。マリーンパレスは世界に誇つてもいい施設だと思うし、別府の地獄も非常におもしろく、すぐれた観光施設に恵まれ、宣伝もじょうずな大分県は、観光面でもすばらしいところだと思う。たゞ東京などで感じたことだが、すぐれた遺跡が取りこわされていくのは観光上マイナスであり、大分県も遺跡保存に十分力を入れてほしい。

大分合同新聞夕刊（10月30日）

ワンダフル横断道路

青い目の知事さん『まるで夢の国です』

日米知事会議で来別した米国の州知事一行10人は、大分県訪問のあと、28日朝、貸し切りバスで九州横断道路を經由、熊本に向つたが、日本有数の観光道路だけあつて、みんな『ワンダフル』を連発、『まるで夢の国を旅しているよう』とベタぼめだつた。以下は同行の別府市通訳から聞いた米国知事の九

州横断道路印象記。

米国知事にとって特に印象が深かったのは ① 湖、高原、山など変化に富んだ沿道の風景 ② 沿道に荒地がなく沿線の施設がみんなモダンでしかも自然の風景によくマッチしている ③ 山林の手入れがよく行き届いている ④ 沿道に立て看板がない ⑤ 1330メートルの高地（牧ノ戸峠）にドライブウエーが通っている ⑥ バスガイドの巧みな案内など。

変化に富んだ風景については、緑の州といわれるワイオミング州のハンセン知事は『米国にも景色のよいところは多いが、短い区間でこんなにいろいろな風景を楽しめるところは珍しい。沿道の風景は米国人旅行者にもきつと受けるよ』と感心。施設の点については観光に力を入れているというバーモント州のホフ知事は『観光政策が行き届いているのだろう。自然保護によく留意している点は実にいい』とほめていた。

かつて自動車会社に関係したことがあり、道路問題に詳しいというミシガン州のロムニー知事は『高地を通るドライブウエーやヘアピンカーブは、米国にも少なく、日本の土木技術陣の優秀さを示すもの』と激賞していたとか。たゞ『道路が狭いのが難点』と話していた。

一行がもつとも喜んだのがバスガイドの案内。米国でバスガイド制がないだけに、行き届いた説明や歌のサービスなどに、『日本は世界一楽しいバス旅行ができるところ。いつまでもバスに乗っていたい』といい、熊本県からの出迎え陣と交代することになっていた瀬ノ本に近ずき、ガイドが別れのあいさつを

するとみんな『オー・ノー、どこまでもこのガイドさんのいるバスで旅行を続けたい』と失望したそうだ。

米国知事たちは一致して『九州横断道路は日本の誇つてよい観光道路であり、国際観光に寄与する面も大きいと思う。外人観光客にも自信をもつてPRしてほしい。こんなにつばな道路が通っている大分県はすばらしい観光県だ』と強調、『大分県の知事になりたい』という人もあり、案内にあつた木下知事ら県関係者を喜ばせた。

大分県 ～ 熊本県

10月28日（木） 第9日

晴

午前8時杉乃井ホテル発、バスにて九州横断道路を熊本に向かう。

九州横断道路、別名山並ハイウエーは、別府から阿蘇国立公園を抜け、熊本から雲仙に至る全長300キロに及び30億円の巨費を投じて建設した観光道路である。最高地点は4,000フィートに達し、真に観光道路の名にふさわしい道路である。

ドライブ1時間半にして瀬の本に達する。ここで大分県から熊本県に引きつがれた。広野の中に日本の家屋を大きくしたような、赤い屋根の鉄筋コンクリート3階建のしよ酒な建物がある。三愛レストハウスである。一行は少女の鼓笛隊の演奏とと

もに、寺本知事夫妻、県幹部職員多数に迎えられた。

寺本知事から次のような歓迎の挨拶があつた。

アメリカの州知事さんよくいらつしやいました。ここから熊本です。きょうから明日まで熊本をご案内いたします。どうぞごゆつくりご見物下さい。

寺本知事の挨拶に答えて、団長リード知事は次のように挨拶した。

アメリカ州知事一行に代り、ご挨拶いたします。パノラミツクな眺望は、まことに美しく、これからゆつくりこの美しい景色を拝見できますことをうれしく存じます。寺本知事さんは奥さんまでお連れしてお出迎えいただき、私共一同感激している次第であります。

わざわざ瀬の本の引き継ぎ地点まで州知事一行を送ってきた木下知事は、一行との名残を惜しみつつ次のように挨拶した。

私は昨日の昼から一昼夜、州知事の皆様とともに、楽しい時を過ごすことができました。いつまでも楽しい思い出になることと思います。またバスの中では、皆さんのスイート・ソングも聞かせていただきました。私はここで皆様とお別れいたさねばなりません。そして九州で最も代表的な美しい山をもっている熊本県に、バトンタッチをいたします。どうぞ皆様愉快的な旅を続けられますようお祈りして、お別れいたします。

ハワイのバーンズ知事挨拶の要旨は、次のとおりである。

大分の木下知事さんと熊本の知事さんにご挨拶いたします。大分県では大変手厚いご歓待を受けまして、私ども一同心から感謝いたしております。九州からはたくさんの人々がハワイに来ておられますので、私も皆さんにお会いして、本当に親し味を覚えます。

送る人、送られる人。バトンタッチを受けてこれから案内する人たちの気持は、一つに解け合い絡み合つて、日米一体融和の和やかな雰囲気醸し出した。瀬の本から阿蘇をのぞむ景観は、まさに圧巻である。三愛レストハウスでの少憩ののち、一行は再びドライブを続けた。豊後富士が美しい姿を見せている。紅葉の中に植林の常盤木の緑が点綴している。狭霧台でバスを降りて5分間休憩した。眼下に広い盆地が開けて、遠く向い側の山裾に靄が棚引いて絵のようである。山裾を廻つてドライブウエーが、うねうねと見え隠れして続いている。道路は洗いたてのようにきれいで、自然の風光を損ずるものは何もない。こんなドライブ気分は、日本では九州横断道路以外では、とても味われないだろうと思えた。この美しい風景を、永遠に眸に焼きつけておきたいと思つたのは、独り筆者だけではなかつたであらう。藁屋根の人家が二、三軒、箱庭の置物のようにたっている。手前の丘で、牛が一匹悠然と草を食っている。有能な婦人の通訳が、淀みなく説明し続ける。午後零時半、国立青年の

家に到着、昼食をとる。青年の家は、青年修練の道場で、雄大な起伏する原野に建つ、鉄筋のモダンなビルである。食事の前に10人の州知事の署名入りスクロールが、寺本知事に手交された。

午後零時45分仙酔峡着、マウントカーで阿蘇山上駅着、ここから徒歩で約15分、阿蘇山頂に到着した。この火山のカルデラ（円形陥没地）は、周囲120キロに及び、世界最大のものだという。中心から噴煙を巻き上げ、雄大という言葉に尽きる。この間寺本知事及び夫人は、終始案内役を勤めた。

阿蘇観光ホテルに到着、約30分間休憩したが、山合いにあつて、四周の風景はすばらしかった。

午後4時40分、予定通り一行は熊本県庁を公式訪問した。玄関前には多数の職員が出迎え、県警本部音楽隊の歓迎演奏が行なわれ、そのあと振袖姿の令嬢から、団長に花束が贈られてから一行は、知事応接室に案内され、次のような寺本知事の歓迎の挨拶が、流暢な英語で述べられた。

寺 本 知 事 歓 迎 挨 拶

皆様よくおいで下さいました。この庁舎は全国で一番古いものですが、目下新らしい庁舎を建築中でありますので、この次お迎えする時は、日本一美しい庁舎でお迎えできると存じます。

秋晴れの日、米国州知事のご一行を熊本県にお迎えすることは、私の無上の光栄とするところでございます。

去年は、日本知事団をお招きいただきましたが、そのなかに

私ども夫婦もふくまれ、手厚いおもてなしにあずかり、各地を見学させていただいた喜びは、終生忘れることができません。御地を見学した数々のことから、非常に参考になり、日本に帰りましてから県行政のうえに取り入れさせていただいております。ここに改めて心からお礼申し上げます。

熊本は九州の中央部に位置し、古くは『火の国』と呼ばれていました。世界最大といわれる阿蘇噴火山の火と、不知火海に現われる不思議な火の二つが『火の国』と呼ばれるに至った理由ではないかといわれています。九州に行政区画がおかれたとき、『肥後の国』となり、その後明治の改革で『熊本県』が誕生いたしました。

明治の改革は、行政の近代化であつたわけではありますが、その後九州をおさめる諸官庁は、ほとんど熊本におかれまして。それから約百年、熊本は大体において順調な歩みを続けて参りました。

熊本には珍しい自然美と、自然美につちかわれた人情の美しさがあり、旅人の心を慰めているようでございます。ご一行をお迎えした『瀬の本高原』は、新らしく開発された景勝地ではありますが、阿蘇山のカルデラとともに、熊本県観光の中心をなしております。

この山の景勝と対象的な海の景勝地として、天草があります。天草はクルスがいち早く渡つてきた島で、島の住民たちの多くは、深くキリスト教を信仰し続けてきました。青い海、緑の島に降りそそぐ明るい太陽の光、天草は観光の島でもあります。

この恵まれた観光地をさらに開発するために、橋をかけることになりました。三角から大矢野島を経て上島にいたる間を五つの橋で結ぶことになり、いま着々進工しており、明年はできあがることになっております。

ご旅行の日程が短くて心残りではありますが、どうかごゆつくりご視察下さるようお願いいたします。そして熊本県のことを心にとどめてお帰り下さるようお願いいたします。

このあと寺本知事から、大島副知事、大山教育長、杉本農政部長、村田総務部長、星子熊本市助役等県、市幹部職員の紹介があつてから、象眼のカフス・ボタンとネクタイ・ピンが寺本知事から、州知事に贈られた。続いてリード団長から次のような挨拶があつた。

リ　ー　ド　知　事　挨　拶

私たちはこれまで各県をお訪ねしましたが、どの県でも大変な歓迎を受け、感激しております。帰国いたしましたら、皆様の心からの歓迎について国民に伝えたいと存じます。このたび私どもは、真の友情とはどんなものであるかということを知つたのであります。

記　者　会　見

寺本知事の県政説明の途中、ワイオミング州クリフオード・P・ハンセン知事が記者会見したが、その概要は次のとおり。

1. 熊本の印象はどうか？

熊本は『火の国』と聞いていたが、阿蘇山を見せていただき雄大な景色に感嘆した。熊本はまた林業が盛んで、64パーセントが森林であると聞いたが、たくさんの植林の美しい杉を見せてもらった。県民はみな微笑を浮かべ、温かい気持でわれわれを迎えて下さって感激した。

2. 熊本県は観光開発に力を入れているが、九州横断道路について所見を承わりたい。

熊本県は先見の明があつて、道路の両側は、広告物などがなく、本当にきれいだと思つた。

寺 本 知 事 主 催 晩 さん 会

午後6時20分から、おくむらで寺本知事主催の晩さん会が催された。初めに寺本知事が次のように挨拶した。

今日は州知事の皆様お疲れのところ、この晩さん会にご出席下さいましてありがとうございます。今日はいろいろご視察いただきましたが、この晩さん会も観光事業の一つでありまして、このあとには何も仕事がありませんので、どうぞ皆様ごゆつくりおくつろぎいただき、日本式の宴席をお楽しみいただきたいと存じます。

サンダース知事は、州知事一行を代表して次のように挨拶した。

今日は寺本知事さんから、大変見事な品を頂戴いたし、ありがとうございました。

私共は、自由の国から火の国に参つたのでありますが、皆様の心からのご歓待は、まことに心温まるものがございます。寺本知事さんのご歓待に報いるため、私共各地の産物を持参いたしましたので、これからそれらを知事さんにお贈りしたいと存じます。

新聞報道

熊本日日新聞。 10月29日

阿蘇の観光を楽しむ

米州知事一行熊本入り

日米知事会議に出席したジョン・H・リード・メイン州知事を団長とするアメリカの州知事10人は、28日大分から九州横断道路を経て熊本入りした。途中、阿蘇の観光を楽しんだ一行は県庁前で開かれた歓迎式に臨んだ。

一行は（中略）バスで別府から九州横断道路を經由して、午前10時半瀬の本高原に到着、ここで寺本知事夫妻や県関係者の出迎えを受けた。

ついで寺本知事の案内で、すっかり黄色くなった晩秋の高原をながめながら阿蘇へ向かい、午前11時45分国立阿蘇青年の家に立ち寄り、昼食、所内視察のあと、阿蘇中岳仙酔峡からロープウエーで登山、中岳火口東展望台から火口を見物した。

火口見物のあとマウントカーで火口をまわり湯の谷の阿蘇観

光ホテルに着いたが、リード団長は、『九州横断道路は日本の高度の技術で困難を克服して完成された観光道路で、雄大な展望とともに誇るべきものだ。また一大パノラマの阿蘇は、日本観光の代表として宣伝すれば海外からもどしどし観光客が訪れるだろう』と語った。

県庁正面玄関には一行を迎えるため『ウエルカム・アメリカン・ガバナーズ』の横看板とその左右に日章旗、星条旗がかかげられていた。一行が午後4時半貸し切りバスで県庁に着くと、出迎えた約1千人の県庁職員が拍手を送り、県警本部音楽隊の『ワシントン・ポスト』が高らかに奏せられた。

歓迎にこたえて米知事が思い思いに手を振る。玄関前の歓迎式では寺本知事が英語で歓迎の辞を述べ、県秘書課の江口保子さんがリード団長に花束を贈呈、リード団長は『心から歓迎ありがとうございます。みなさんの友情を帰国して州民に伝えたい。いま阿蘇をみてきたが、その偉大さに心を打たれた』とお礼のことばを述べた。

このあと知事応接室で寺本知事が県政の概要を説明したが、その中で寺本知事は『第2次世界大戦の末期、熊本市は米空軍の爆撃を受け、県庁をはじめ中心街の3分の1が壊滅した。しかしその後戦前をしのぐ復興ぶりを示している』と説明した。

寺本知事の説明の途中、ワイオミング州のクリフオード・P・ハンセン知事が記者会見し、『熊本は「火の国」だとはきいていたが、阿蘇の火口はすばらしいの一語に尽きる。阿蘇の杉も美しい。それに、九州横断道路の沿線によけいな広告物がない

のがよかった。アメリカの観光道路は広告物のはんらんできたない』と語った。

つづいて一行は 6 時 20 分から古城堀端町の『おく村』で開かれた寺本知事主催歓迎晩さん会に出席、伊豆熊本日米協会会長、櫛山県議会議長、石坂熊本市長、景山県警本部長ら県代表と懇談した。

一行は同夜はホテル・キヤツスルで一泊、29日は南九州コカ Cola・ボトリング K・K、熊本城を見学し、午前 10 時熊本城を出発して三角から島原に向かう。

熊本県 ～ 長崎県

10 月 29 日（金） 第 10 日

天気晴朗、10 月末というのにさすがに南国の陽射しは強烈。午前 9 時バスにてホテル・キヤツスル発。加藤清正の築城になる有名な熊本城を見学。昭和 35 年に 1 億 8 千万円の巨費を投じて本丸と二の丸が復元されたもので、鉄筋コンクリート造りである。小学生等多数の参観者に加って内部を見学した。近くにもう一つの城があるが、これは清正が築城したそのまゝの木造のもので、今は内部参観は許していないとのことで残念であった。州知事たちは見学の小学生の群に入り、写真などを撮り、サヨナラと手を振って別れた。

三角港の定期船上で、熊本県から長崎県に引き継がれた。午

後零時 20 分島原港着、佐藤知事その他多数県職員の出迎えを受けた。特に州知事一行を喜ばせたのは、島原市日月（しかわ）幼稚園の可愛い鼓笛隊 40 人が、鼓笛の演奏をして一行を迎えたことであつた。園児代表からリード団長とバーンズ知事に花束が贈られると、期せずして拍手が鳴り渡つた。花束を受取つたリード知事は、上体を深く折り曲げて可愛い園児の頬に接吻した。リード団長は次のように挨拶した。

『私たちは日本上陸以来各地で盛んな歓迎を受けましたが、皆さんのように可愛いらしい坊ちゃん嬢ちゃんの歓迎を受けたのは始めてです。本当に心温まる思いがします』

このあとバスで雲仙に向い、途中仁田峠で下車、15 分間休憩して、午後 2 時予定通り雲仙に到着した。

島原港から仁田峠を経て雲仙までの約 1 時間半のドライブは、急峻な坂道を登り、見事に紅葉に彩られた下界を展望し、風光すこぶる美しい。

雲仙ホテルに到着するや一行は、直ちに軽装に着替えてゴルフ場に馳せ、夕刻まで日米ゴルフ国際試合を楽しんだ。

長 崎 県

10 月 30 日（土） 第 11 日

米州知事日本上陸以来晴天に恵まれたが、この日とうとう小雨が降り出した。午前 9 時一行はバスで雲仙ホテル発、国道 57 号線、34 号線を経て長崎県庁に向かう。途中眼鏡橋で下車してこの名橋を見る。旅行案内には次のような説明があつた。

都心を流れる中島川に架かるこの橋は、寛永 11 年（1634 年）長崎三唐寺の一つ興福寺の黙子如定禅師によつて造られた日本最古の唐風石橋で、橋柱によつて分けられた双半円は、さし上る潮に影を落して眼鏡の形を描くことからこの名があり、風雪 300 年、数次の洪水にもたえた名橋である。

眼鏡橋を通して眺める景色は、オランダの田舎にあるような、日本離れのしたものであつた。

午前 11 時 20 分予定どうり長崎県庁に到着、直ちに知事応接室に案内され、日米知事の会見が行なわれた。佐藤知事の歓迎の挨拶の要旨は次のとおり。

佐 藤 知 事 歓 迎 挨 拶

先般東京で日米知事会議が開催されましたが、引き続き九州地方をご視察いただくことになり、このたび米国州知事ご一行をわが長崎県へお迎えできましたことを心からうれしく存じます。

長崎は日本で最も古い都会の一つでありまして、日本の鎖国

時代 400 年間、この長崎だけが海外に開放されておつたのであります。そして近世の西洋及び東洋の文化が、この長崎を経て日本には入つて来たのであります。第 2 次世界大戦中は、海外との交流が閉されていましたが、戦後再び海外との交流が盛んになりました。

(地図により説明) この地図でお分りのように長崎県には非常に島が多く、その数約 600 を越え、このうち人の居住する島が 100 以上あります。対島の向うに朝鮮があり、小さな船でも 2 時間半で達することが出来ます。

国立公園が二つありますが、日本で二つの国立公園をもっている県は、長崎県のみであります。一つは雲仙国立公園で、他の一つは西海国立公園であります。従つて港が多く、260 以上に及んでいます。

産業の第一は、造船とその関連産業で、第二は、炭鉱、第三は、水産で、水産業は、北海道を除けばわが国第一位を占めております。第四は、農業であります。

いま長崎に埠頭の工事が進められていますが、これが完成しますと 5 万トン級 1 隻、その他 3 万トン級が停泊することが出来ます。また日本最大の埋立地が計画されていますが、その面積は 4,000 平方料であります。

長崎は諸外国との交流も盛んで、日本の最も盛んな国際都市の一つであります。韓国も近いので、国交が正常化しますれば、交易も盛んになることと思ひます。

チャファイー知事挨拶

アメリカ州知事を代表して、私どもに示されたご厚意に対し、厚くお礼申し上げます。

昨日は雲仙でゴルフを楽しむことができて、楽しいひと時を過ごしました。本日は午後史蹟や造船所を見学することができますことを喜びに存じております。ここに10名の知事がサインいたしましたスクロールをお贈りして、われわれの感謝の意を表したいと存じます。

このあとリード団長から、次のメツセージが発表された。

メツセージ

長崎は古くからアメリカ人に、東洋と西洋の交流の歴史における焦点として知られてきました。長崎県と長崎市を訪問し、われわれが多く聞き及んで参りました史跡を親しく見聞する機会を得ましたことは、われわれアメリカ知事団にとり、またとない喜びであります。

いわゆるアジアとヨーロッパの文化の相違および、一方の国民が他方の国民を知りそして理解しようとして当面するいろいろな困難に対しては、これまで多くのことがなされて参りました。このような相違や困難のあることは、当然のことです。しかしながら長崎の歴史は、両者の善意ある人々にとって、すべての人々の恩恵のため、有益な相互理解が達

成可能であることを示しております。

長崎は、われわれが始めて日本についての詳密な知識を得たところとして、われわれ西洋人に知られております。スペイン人、ポルトガル人、英国人、オランダ人等が、すでに16世紀の頃から、日本に渡来しております。日本についての知識は、こんなに早くからヨーロッパ人に開け始めました。それ以来ミカドの国について、ヨーロッパ人やアメリカ人の間に、多大の好奇心が高まって参つたのであります。日本が西洋諸国から孤立政策をとつた2世紀間においてすら長崎は、情報や貿易が海外に流れ出た唯一の地として残されたのであります。

同様に長崎は、日本にとつても両面開閉の窓口であつたのであります。日本人が最初に西洋と大規模の交流をなし遂げたのも、この地であります。そして西洋文化を一べつしたことと、日本を訪れた探検家や貿易商や学者などから、キリスト教を伝えられたことが、日本の近代史に甚大な影響を及ぼしたのであると私は信ずるのであります。

1945年に長崎の名は、再び世界の注目を惹くことになりました。長崎市の爆撃は、人命と財産に一大破壊をもたらしました。この爆撃が必要であつたということは、世界の人人が戦争を防止する手段を見出し得ず、国際紛争を平和的手段により解決し得なかつたことに帰せられねばなりません。また、長崎の爆撃は、第2次世界大戦を終結に導き、もし戦争が継続されたならば、無数に出したに相違ない死傷者を防

止し得たことも、記憶されねばなりません。

しかしながら今日重要なことは、そしてわれわれが深い感銘を受けましたことは、長崎の住民及びその指導者が、過ぎ去った20年の昔の回顧にのみふけることなく、常に前方を見つめて、自分たちの物質的環境を再建し、全世界の国民のため、平和な世界と自由と安全という人類の偉大な目標のため、その役割を果たしてこられたことであります。

今日長崎の名は、再び世界に知れ渡っております。人々は長崎市の美しさと、長崎県のすばらしい風景を称讃するため、この地を訪れております。当地の産業は急速な進歩を遂げ、貴国国民のため、また、国際貿易のため、商品を改良されました。そしてこのことは、漸次貴国と世界の他の国々との接触を深めておるのであります。住民の文化生活の向上と国際社会への貢献は、また長崎に多くの人々を吸引し、世界の隅々にまで、長崎の名前に敬意を表させておるのであります。

われわれ知事団は、九州を旅行いたしました。われわれは、400年以上以前に、聖フランシス・ザビエルが旅行したと同じ道を旅して参ったのであります。われわれが深い感銘を覚えましたことは、世界は一つであるという驚きと、いつも新らしく見える古さであります。アメリカ人として、また各州の代表者として、さらにアメリカ国民としてわれわれは、長崎市民及びその指導者とともに、世界各国国民に真の平和と友情の基礎を築く、相互理解と友情のため努力いたすことをお誓いいたします。

REMARKS AT NAGASAKI

Nagasaki has long been known to the people of the United States as a focal point in the history of contact between the East and the West. It is a rare pleasure, indeed, for this group of governors of Americans States to visit your prefecture and city and to see for ourselves the historic places of which we have heard so much.

Much has been made of the so-called differences between the cultures of Asia and those of Europe and of the difficulties which people of one side face in trying to know and to understand the people of the other. That there are such differences and such difficulties goes without saying, but the history of Nagasaki shows that it is possible for men of goodwill on both sides to achieve a fruitful mutual understanding for the benefit of all.

Nagasaki is known to us in the west as the place from which we first obtained detailed knowledge. of Japan. The Spanish and the Portuguese, the English and the Dutch came to Japan as early as the 16th century. Knowledge of Japan in Europe began at that early date and the great curiosity of Europeans and Americans about the land of the Mikado has grown ever since. Even during the two centuries when Japan

tried to isolate itself from the western world, Nagasaki remained the one place from which information and trade went out.

Similarly, Nagasaki has been a two-way window for Japan. It was here that the Japanese first gained large scale contacts with the west and I am sure that the glimpse of European culture and the christian religion which Japan got from the explorers, traders and scholars who came here has had a profound effect on the modern history of your country.

In 1945 the name of Nagasaki again was called vividly to the attention of the world. The bombing of this city caused great destruction of human life and material property. That this was necessary must be attributed to the general inability of the peoples of the world to find a way to prevent war and to solve international disputes by peaceful means. It must also be remembered that the bombing of Nagasaki brought World War II to an end, and prevented the untold numbers of casualties which would have inevitably resulted if the war had continued.

But the important thing today, and the thing which has impressed us most, is that the people of Nagasaki and their leaders have not looked backwards in the past 20 years

but have looked forward in rebuilding their physical environment and in doing their part in the great quest of mankind for a world of peace, freedom and security for all peoples.

Today the name of Nagasaki is again known throughout the world. People come here to marvel at the beauty of your city and the strikingly beautiful scenery of your prefecture. Your industry has made rapid advances improviding goods for your people and for the international trade which increasingly brings you into contact with the rest of the world. Advances in the cultural life of the people and contribution to international society have also brought many people to Nagasaki and have made the name of this city respected in all corners of the world.

As our group has traveled around the island of Kyushu, we have been following the path of St. Francis Xavier who made this same journey more than 400 years ago. Our overwhelming impression is of the wonder of the oneness of the world and the oldness of so much that has always seemed new. As Americans, and as representatives of our states and of the American people, we join with the people of Nagasaki and their leaders in pledging ourselves to work for that mutual understanding and friendship which must form the

basis for true peace and friendship among the nations of
the world.

このあと佐藤知事から、真珠のネクタイピンが州知事に贈られた。

アメリカ州知事と対談の折、佐藤知事から『青少年対策について、成功した例があつたら承わりたい』との質問に対し、ジョージア州サンダース知事から、次のような回答があつた。

『ジョージア州には、12の青少年開発センターがあり、ここには心理学者や福祉関係専門職員等を置いて、青少年の更生を計っている。また仕事を持たない者には、技術を援け、仕事を与えている。』

正午グランド・ホテル着、昼食ののち午後2時視察のためホテル発。三菱重工長崎造船所、平和祈念像、国際文化会館、26聖人像等を視察した。小雨が降っていた。

三菱重工長崎造船所視察

州知事一行は、先づ会議室に案内され、林所長から次のような説明を聞いた。

日本の近代工業は、殆んど長崎で始められたものである。1857年にオランダの技術者によつて造船が始められ、それ以来われわれは、108年間、技術と研究を積み重ねてきたのである。

すべての産業の発達は、船に頼らなければならない。従つてわれわれは、政府からの補助も得てきたが、同時に造船事業の発展は、われわれ自身の手によつて為されてきたのである。三菱の工業は、長崎から始められ、各方面に流れていつ

たもので、現在は、船の建造と陸上の諸機械の製造を行なっている。わが国造船の15パーセントを占め、最高の建造量を誇っている。従業員は12,500人で、別に研究員が500人いる。材料は八幡製鉄から仕入れている。わが社では、ヨーロッパで1年を要して建造する船を、半年で完成している。20万トン、10万トンその他各種のドックをもっている。

説明を聞いてから、一人々々鉄帽と作業衣を身につけ、コーモリ傘をさして現場を視察、終りに記念撮影をして辞去した。

国際文化会館視察

ここには長崎原爆の記念品や写真などが陳列してある。一瞬の強烈な熱と光にへし曲った浦上天主堂の瓦や硯石や、瓦とガラスが解け合つて癒着したものや、鉄かぶとに頭骨がへばりついたものや、原爆症の模型など、どれも原爆の恐ろしさと凄惨さを物語るもののみであつた。これらの陳列品は、再び戦争の惨禍を招くなど、人々の心に強く訴えているようであつた。

このほか平和祈念像や、秀吉のキリシタン禁止令によつて処刑された、26人のキリスト教徒の遺品などの陳列してある26聖人像を視察した。雨のため長崎港を俯瞰し、異国的情緒豊かなグラバー邸視察は中止した。帰途長崎県物産館で買物などし、午後5時半グランド・ホテルに帰還した。午後7時半より『花月』で佐藤知事主催の歓迎晩さん会が開催された。

佐藤知事主催歓迎晩さん会

花月での晩さん会における佐藤知事挨拶の要旨は、次のとおりである。

日本では、ご馳走を前にしての挨拶は、猫の額のように短かくした方がよいといわれています。

このたびわれわれの尊敬するアメリカ州知事ご一行をお迎えいたしましたことは、非常な名誉と存じております。忙しい日程のところ、会談をしていただき、また、各地をご視察いただきありがとうございます。日米間の友情はますます緊密化することと確信いたします。今晚は、皆様方のご家庭の延長というつもりで、おくつろぎいただくためここにお招きいたしました。

この建物は 320 年前に建てられたもので、日本でも最も古い料亭の一つとして、いろいろの歴史を秘めております。昔から長崎には、多くの外国人が訪問しておりますが、このような背景で、長崎の人々は皆外国人に親切であります。

このあと県、市関係主脳の紹介があり、ハワイのバーンズ知事が、一行を代表して次のように挨拶した。

われわれ政治家は Short speech is the best Speech といっております。私たちは佐藤知事さんを身内の者のように思っております。日本は、政治的にも経済的にも、アメリカの

最良の友であります。特にハワイの知事として私は、このような関係を心から喜んでおります。

アメリカの各州知事は、佐藤知事さんの厚遇に報いるため記念品をもつて参りましたので、これからそれらを差上げたいと存じます。

山海の珍味と長崎の美妓の踊を鑑賞して、午後 9 時グランド・ホテルに帰還した。

新 聞 報 道

長崎新聞 10 月 31 日

米の知事一行長崎入り 造船所など視察

日米知事会議出席のあと日本各地を視察しているアメリカ知事会のジョン・H・リード会長（メイン州知事）ら一行 11 人は、30 日バスで雲仙から長崎入りし、午前 11 時 20 分県庁につき、佐藤知事と懇談した。

佐藤知事は、庁内特別応接室で本県の地図を示し、産業、貿易、観光などの実情を説明し、本県の国際性を強調した。これに対しアメリカ州知事らは本県農業の実態や青少年の健全育成問題などについて双方で、熱心な質疑がかわされた。懇談は、終始なごやかなふん囲気ですすめられ、アメリカ州知事らは記念に贈られた真珠のネクタイピンを胸につけてもらって大喜び。

これに対しリード会長は、佐藤知事にアメリカ知事会からの感謝状を贈るとともに『アメリカ国民の代表として、長崎の人

人、その指導者とともに相互の理解と友情を深め、手を取りあつてゆくことを誓う。このことが、真の世界平和と友好の基礎になるものであると信ずる』という県民へのメッセージを読み上げた。

一行は、午後から三菱重工長崎造船所、平和公園、国際文化会館、26聖人像、などを見学し午後6時から花月での知事主催の晩さん会に出席した。31日は、午前9時に宿舎のグランド・ホテルを出発し有田に向かう。

長崎時事新聞 10月30日

米州知事一行歓迎ぶりに大喜び 園児らにほおずり

日米知事会議に出席後、全国各地の観光をかね行政視察中のアメリカ知事会会長ジョン・H・リード氏（メイン州知事）ら一行10人が29日午後零時20分九商の輸送船で三角経由熊本から島原港着、本県入りした。

島原港には佐藤知事、伊藤島原市助役、観光関係者など5百人が出迎えた。また島原日月幼稚園の可愛い鼓笛隊40人が歓迎した。

一行は思いがけない歓迎に大喜び、花束を贈る園児にほおずりする場面もみられた。リード会長は一行を代表し『歓迎ありがとう。わたしたちは島原上陸の印象を忘れない。こんごの日米親善に大いに役立ちたい』と顔をほころばせていた。

その後県庁差し回しのバスで雲仙に向かった。雲仙では仁田峠に登り、いま真盛りの紅葉の美しさに目をみはり、日本の秋

を満喫した。29日は雲仙観光ホテルに泊り、30日長崎県庁を公式訪問する。

長崎県 ～ 佐賀県

10月31日（日） 第12日

曇りのち小雨。

午前9時バスにてグランド・ホテル発。国道35号線を約2時間ドライブして、午前11時佐賀県有田町南川原の酒井田柿右エ門氏宅に到着した。西館の一階洋間に、製作品が陳列してあった。花束贈呈ののち伝統と製作工程などについて説明があったから、成形場や絵付場などの工場を視察した。州知事たちには特に、職人たちの指先から、さまざまな器や壺や人形が作り出されることに深い興味を寛えたらしく、熱心に見入っていた。

次いで岩尾磁器工業株式会社を視察した。ここは従業員4千人を越え、工業用品やタイルをマस्पロによつて製造している会社である。

正午有田町役場に到着、昼食会が催され、最初に池田知事の次のような挨拶があつた。

池田知事歓迎挨拶

このたびかくも多数アメリカ州知事の皆さんのご訪問をい

ただきまして、まことに光榮に存じております。県民一同を代表して、心からお礼申し上げます。

ところで私は、1962年に訪米知事団の一員として、貴国各州の政治、経済、教育、文化などの各方面にわたり、視察の機会を得ましたが、その際温かいご歓待を賜わり、かつ、貴重な資料をいただき、ここに改めて感謝の意を表する次第であります。

本日は当地有田町の陶磁器及び有田干拓などをご視察いただきましてから、本県唯一の温泉郷嬉野町にご案内いたすことにいたしております。有田町の陶磁器は、日本では最も歴史が古く、今から約350年前の1616年頃から始められたものであると聞き及んでおります。とくに赤絵は、他所の追随を許さず、伝統的工芸美術としての技術を世界に誇っております。最近は、建設資材としてのタイルや化学工業用としての耐酸磁器についても、国内外で好評を博しております。

有明干拓は、今から1300年前頃から造成が始められたもので、現在の海岸線から約20キロ背後地まで、干拓造成によつて造られたものであります。もともと有明海は、干満の差が大きく、干潮時には海岸線から遠く5・6キロ沖合まで、浮泥の干潟となりますので、干拓造成には適しているわけであります。現在でもその地先では、盛んに干拓造成が行なわれておりますが、本県ではこの干拓を利用して、大規模農業経営への施策を積極的に進めております。

以上本日これからご視察いただきます個処の概要を申し上げ

げましたが、どうか十分ご観察いただきますようお願いして、私の歓迎の挨拶といたします。

リード知事挨拶

アメリカ知事を代表して、厚くお礼申し上げます。天気が少々悪いようですが、皆様の温かい歓迎で、心は晴れ晴れいたしております。

御地のような工場を見ることは始めてであります。私どもは、日本人の高度の技術を尊敬しております。焼物について、アメリカの技術も学ばれたそうですが、両者の知識がよく生かされていると存じます。今日は買物の時間まで与えて下さったそうで、感謝しております。

今日は日曜でありますので、食前にお祈りを捧げたいと存じます。

ついで池田知事から、日本側列席者の紹介があり、クリフワールド局長から、州知事一行の紹介が行なわれた。

昼食後趣味の楽焼きが行なわれ、州知事たちは、あるいは国の奥さんあてに、あるいは友人知己あてに、思い思いに揮毫して、楽しくひと時を過ごした。

午後から再びバスで視察に出発、有田タイル株式会社を視察した。ここは従業員 700 人で、フェイシング・タイル（建物の化粧表に使用するタイル）やウォール・タイル（室内用風呂場などに使用するタイル）などを製造している工場である。

有田町は、人口 2 万の小さな町であるが、家内工業を含め焼物の仕事をしている家は、百戸を越えるということである。

帰途、材石を堀り出す場所を見たが、全山が材料石で、町で管理しているとのことであつた。なお数百年の需要を充すに充分と思われた。

有明干拓の視察は、天気が悪いので中止し、有田美術館を視察したが、折よく隣の建物の 2 階で結婚式と演芸会のような催しがあり、これに出席していた美しく着飾った多数の若い婦人たちに迎えられ、州知事たちは大満悦であつた。

このあと有田町の商店街で買物をした。香蘭社や深川製磁は、この町で有数の陶磁器店である。これらの商店は、アメリカ州知事歓迎の横幕を吊して町全体が歓迎気分にはやっていた。州知事たちは、日本上陸以来買物の機会がなく、それに美しい陶磁器の製品に魅せられて、たくさんの土産物を買った。これ程たくさんの買物を、ひとまず東京までどうして運搬しようかと、随行者たちの頭を悩ましたほどであつた。定刻より 1 時間も遅れて夕暮に嬉野に向つて出発した。この間サンダース知事ら 2・3 の知事は、付近の農家を訪れて田畑の耕作などについて視察してきたが、突然のことで関係者は誰も気付かなかつた。

池田知事主催歓迎晩さん会

午後 7 時 40 分から、和多屋別荘千畳敷き（実際は約 200 畳）の大広間で、池田知事主催の晩さん会が催された。州知事たちは、ひと風呂浴びて浴衣に羽織のくつろいだ姿で出席した。

池田知事から要旨次のような挨拶があつた。

アメリカ州知事の皆様には、長いご旅行にもかかわらず本県をご訪問いただき、かつ、本県の特産である有田焼きを熱心にご視察いただきありがとうございます。日程が窮屈でありますので、あるいは不行き届の点があつたかも知れないと存じておりますが、それにも拘らずご熱心にご視察いただき、有田町民と佐賀県民に代り、厚くお礼申し上げます。

本日お招きいたしました嬉野は、本県唯一の温泉郷であるとともに、わが国でも有数の茶の産地でもあります。

嬉野という名前は、昔々さる皇后が旅行の途中この地にお立ち寄りになり、嬉しいのうといわれたのが語源であるといわれております。

田舎の料理ではありますが、十分召し上りいただき、ご旅行の疲れをごゆつくりおくつろぎいただきたいと存じます。

アメリカ知事を代表して、バーモント州ホフ知事は、次のように挨拶した。

池田知事、ご列席の皆様、アメリカ州知事に代りご挨拶申し上げます。

九州の旅行は、日がたつにつれて興味深くなつて参りました。私どもは、佐賀県の誇りとする立ばな陶磁器を見せていただきました。またいろいろ買い求めましたが、それらは飛

行機で米国に持ち帰り、長く鑑賞したいと存じます。美しい焼物を見せていただき、その上にこのようにすばらしい晩さん会にお招きいただき、心からお礼申し上げます。

いろいろの日本舞踊など紹介されたが、この日バスガイドをした女性が、槍をしごき大杯を持って見事な黒田節を披露し、州知事たちの喝采を浴びた。語学が堪能で、さらにこうした余技をもつことは、なんとなく床しさを感じさせるものである。名前も聞き忘れて残念である。

和多屋別荘は、全館純日本式の旅館で、州知事たちには特に気に入ったようであった。

新 聞 報 道

佐賀新聞 11月2日

米国州知事視察団一行池田知事を訪問 県発展を祈ります
日米合同知事会議に出席したあと九州を訪問しているアメリカ・メイン州知事ジョン・H・リード団長以下アメリカ州知事視察団一行11人は、1日午前10時ごろ県庁を訪れ、池田知事から県政全般について説明を受けた。

一行は池田知事はじめ県庁職員約4百人の出迎えるなかを専用バスで県庁正門前に着いた。ひとりひとり池田知事と握手をかわしたあと、玄関前で秘書課勤務下平敦子さん(21)から花束を贈られ、リード団長が『日米両国の親善と佐賀県の発展を祈ります』とメツメッセージを述べ歓迎にこたえた。

中別館特別来賓室で池田知事らとししばらく懇談、池田知事が両わきにすわったリード団長、カール・サンダース・ジョージア州知事からテーブルの上の灰ザラについて質問され『香蘭社の製品だ』と答える一幕もあつた。県政説明では、産振計画を中心に県政全般について約半時間説明した。

記者会見では『有田焼と県内農家についての印象は』との問いに、リード団長をはじめサンダース、ハンセン、ベルモン氏ら各知事が、『有田焼はすばらしい。世界一の焼物だ』『日本の農家は水田が小さいのに、大きい農機具を使用しているので驚いた』と親善ぶりを発揮、午前 11 時福岡県へ向つた。

佐賀県 ～ 福岡県

11 月 1 日（月） 第 13 日

晴。

定刻より 30 分遅れて午前 8 時 50 分バスにて和田屋別荘発。旅館前には従業員全員が小旗を振り、一行を送り、名残りを惜んだ。国道 34 号線を佐賀市の佐賀県庁に向かう。沿線は一面の水田で、この地方は稲の取り入れも遅いらしく、見渡す限り豊かな黄金の波を打っていた。

午前 10 時県庁着。全職員が出迎える中を州知事の一行は、手を振って歓迎に応え、直ちに振袖姿の令嬢から、リード団長に花束が渡された。リード団長から、次のような挨拶があつた。

池田知事および県民の皆様から、多大の厚遇を受け深く感謝しています。池田知事は、さきに日本知事団とともにアメリカを訪問されましたが、重ねてアメリカを訪問されるよう希望いたします。県民の皆様もどうぞアメリカにお出で下さい。今日のご歓待にお応えして、簡単ではありますがご挨拶いたします。

一行は、玄関前で記念撮影をしてから、知事特別応接室に招かれ、最初に池田知事から、次のような歓迎の挨拶と県政説明が行なわれた。相当長文のものであったが、これはすべて英語で行われた。次にその全文を掲げる。

池田知事歓迎挨拶及び県政説明

日本の地方自治行政をご視察されておられる米州知事の皆さんを本県にお迎えして、ここに県政の概要についてお話し申し上げる機会を得ましたことを、まことに光栄に存じます。

佐賀県は、九州の西北部に位置し、東は福岡県、西は長崎県に境を接し、北は玄海灘、南は有明海に面して、総面積2,404キロ、人口887,000人、人口密度1平方キロあたり37人で、全国第12位となっています。

地勢は、北部と西部に山嶺が連なり、東南部は、広大な佐賀平野で占めています。この佐賀平野は、有明海に流れる諸河川によつて運ばれた土砂が、堆積してできたもので、いまでもその地先では、干拓の造成が続けられていますが、土地

が非常に肥え、日本でも有数な沃野となつております。

西北部の玄海灘に面したところは、荒波による海蝕洞窟や、白砂青松の虹の松原など景勝に富み、玄海国定公園の中心部となつています。

もともと佐賀県は、地理的に古くからアジア大陸との関係が深く、紀元前 2 世紀頃から中国や朝鮮との交通の門戸として、大陸文化移入の重要な拠点となつておりましたので、今日なおいろいろな古代文化の遺跡が残つております。また、長崎県にも近いところから、藩政時代には、ヨーロッパの機械文明も積極的に取り入れ、日本の夜明けにも大きな役割を果たしてきました。

1871 年（明治 4 年）廃藩置県によつて県政が施行されその後いろいろな変遷がありましたが、現在の佐賀県となつたのは、1883 年（明治 16 年）からであります。行政区画は、7 市 27 町 15 村でありまして、現在私が 44 代目の知事として、2 期目の県政を担当している次第であります。

次に県政施策の概要について、ご説明申しあげます。

本県の産業は、ながい間米麦を中心とした農業と石炭鉱業を主体として進められてきました。

農業の面におきましては、昔から『米どころ佐賀』といわれる程に生産性の高い米作を根幹とし、最近では山麓地帯のみかんを中心とした果樹園芸や酪農を大いにとり入れ、農業の近代化、機械化を推進し、農家の生産所得も、逐年向上しております。特にみかんは、ここ数年に飛躍的に伸張し、いま

や佐賀みかんは、九州オレンジベルトの中心として、全国有数の地位にまで高まってきました。しかしながら石炭鉱業は石炭から石油への燃料源の転換の進歩、いわゆるエネルギー革命に伴って、炭坑の休、閉山が相次いで起り、今日では石炭鉱業からの離職者対策を含む産炭県としての地域経済の振興が大きな課題となつております。このような石炭鉱業の斜陽化によるハンディキャップを克服し、県民所得を高めるためには、工業の発展に大いに力を致し、農業と工業が調和のとれた姿で発展してゆくことが最も大切であると考えまして、工業の開発についても、現在長期にわたる開発計画を進めているところであります。幸い新規企業の誘致も着々と実現し、本県の東部、鳥栖市から佐賀市につらなる佐賀東部地域は、九州における内陸工業地帯のホープとして、大いに注目されるまでになつております。また、玄海灘に面する唐津市や伊万里市におきましては、立地条件を生かし、臨海工業地帯として、総合的な整備を進めています。

このほか、昨日ご視察いただきました有田の陶磁器は、古い伝統をもつ県の特産品として、美術工芸品のほか、タイルなどの建築資材や耐酸磁器など、工業用品の生産も増大し、設備の近代化と相まって、国内のみならず輸出の面におきましても、極めて高い評価を受けるに至つております。

水産業は、玄海の沖合漁業と、有明海の養殖漁業に分けられますが、とくに有明海ののりは、本県の成長産業の一つであり、また、最近はじめました玄海沿岸の真珠の養殖にも、

大いに力を入れているところであります。

観光の面については、唐津市を中心とした玄海国定公園をはじめ、七つの県立公園や、昨年よりお泊りいただいた嬉野温泉、あるいは武雄などの温泉、さらには史跡、伝説、民芸など、県内いたるところ観光資源に恵まれていますが、九州国際観光ルートの設定をはじめ、県内観光道路の整備など、観光開発を積極的に進めています。

このような産業振興計画の成果によつて、これまで全国平均に比べ、はるかに低かつた県民所得も、1961年以降は、その成長率が全国平均を上廻り、先進地との所得格差も、漸次縮少をみつつあります。

次の世代をになう青少年の教育につきましては、学校教育の振興、充実はもちろん、社会教育の面にも大いに力を注いでいるところでありますが、とくに、最近、問題となっている青少年の不良化防止、健全育成につきましては、スポーツの振興をはじめ、県内全家庭をあげて、健全な生活環境づくりに努力し、着々その成果をあげているところであります。また、県民が健康で文化的な生活が営まれるように、本県では、1962年から5カ年計画を樹立して、県民福祉の増進を図っていますが、とくに低所得階層に対する諸施策を進める一方、保健衛生の向上に、積極的な努力をいたしております。

以上、佐賀県の県政概要について簡単にご説明いたしました。本県は、他の多くの県と同様に、財政の面において、

中央政府に対する依存度がいちじるしく高く、地域開発に必要な投資あるいは、住民へのサービスのための施策については、まだまだ不十分な点があります。私は、このような地方自治体としての問題点がありますものの、これらの困難を克服しつつ、県政担当の責任者として、あくまでも県民福祉の向上のため、最大限の努力を傾注していく考えであります。

県政説明は、相当長時間を要したが、州知事たちは、終始熱心に傾聴していた。

続いて記者会見が行なわれ、始めにリード知事から、簡単な次のような挨拶があつた。

池田知事および県民の皆様のご厚意に、深く感謝いたします。佐賀県は、非常な発展を遂げられましたが、このことは池田知事がいかに努力されたかの証左であると思います。

記者団から、有田焼の印象と、民家訪問について意見を問われたのに対し、サンダース知事は

有田焼は世界一の焼物だと思う。われわれはみんな有田焼を買ったが、長く宝物として使用したい。

と答え、ハンセン知事はまた

日本の農民の勤勉と努力には驚いた。水田で牛を使っているのを見たが、農具はアイオア州のヒューズ知事から買われたらよいと思う。

と答えた。また、農村人口の減少について意見を問われたのに対しベルモン知事は、次のように答えた。

アメリカでも同様の傾向がある。老人や子供が残されることには大きな問題がある。アメリカ全体として農村人口は、75パーセント減っている。一人の農夫が35人を養っている勘定である。

正午県庁を辞去、次いで県庁近くの昭和38年に完成し、総工費3億1千万円を投じて建設した、壮大な佐賀県体育館を視察した。

福岡県大川市に到着、ここで佐賀県から福岡県にバトン・タッチされた。大川市商工会議所家具陳列場で、竜野大川市長の歓迎の挨拶ののち花束がリード知事に贈呈された。一行は、陳列場に所狭しと並べられた家具調度品を興味深く観察して廻った。大川市の家具製造の歴史は遠く400年前にさかのぼり、人口5万の同市に現在1200の工場があつて、年額130億円を製産している。説明者は、1万円の座卓を指して、東京では2万円はするでしょうといった。近藤商工会議所会頭から、州知事に花むしろが贈られた。壁掛けにもなるような絢爛たるもので、一行は大喜びであつた。家具と花むしろは一見関連がないように思われるが、この附近は農家の副業として花むしろの生産が盛んであるとのことであつた。後にバスの窓から路傍に葦がたくさん干してあるのを見た。

次に近くの立春木工船橋工場を訪ね、家具製作の現場を興味深く視察した。

ブリジストン工場視察

予定より1時間半程遅れて、午後ブリジストン工場が経営する石橋迎賓館に到着、昼食会が催された。この日わざわざ州知事たちを迎えるため東京から馳せ参じたという石橋会長は、次のように歓迎の挨拶をした。

お忙しい日程のところ、アメリカ州知事の皆様、よくおいで下さいました。ふだん私は東京におりますが、幸い当地でお目にかかれてうれしく存じます。会社の説明につきましては、秘書にいたさせます。

このあと久留米市長井上義人氏は、次のように挨拶した。

久留米市は静かな緑と水の町であります。昔からこの地からたくさんの方々が立派な人が出ています。特に石橋さんをもっていることを誇りとしております。

石橋さんは当市のため、精神的、物質的に多くの貢献をしておられますが、特に10年前に文化センターを献納していただきましたことは、感謝に堪えません。

10人の州知事さんのご訪問を機会に、久留米市は、アメリカのどこかの市と姉妹提携を結びたいと希望しておりますことをお伝えして、ご援助いただきたいと存じます。

アメリカ知事を代表してオクラホマのベルモン知事は

私は時間がないことを知っていますので、アメリカ州知事を代表して、ほんの一言挨拶いたします。私どもは立ばな久留米市とすぐれたブリジストン工場を訪問する機会を得ましたことを、心からうれしく存じます。

と挨拶した。

ブリジストン工場を視察してから福岡県庁に到着したのは、午後 5 時 20 分であつた。

一行は知事応接室に案内され、鶴崎知事と会見した。

鶴 崎 知 事 歓 迎 挨 拶

本日は、はるばる米国から州知事一行の皆様をお迎えしてわが福岡県の産業、経済の実情を親しくご視察いただきますことを光栄に存じます。

日程を拝見しますと相当窮屈で、皆様お疲れのことと存じますが、今明日にわたりご視察いただきたいと存じます。

当福岡県は、人口 400 万を超え、九州の政治、経済、文化の中心をなしております。特に北九州は、日本有数の重工業地帯でありまして、八幡製鉄、アサヒガラス、住友金属、三菱化成、東洋陶器特の大小の工場が林立し、鉄鋼、石炭、ガラス、化学用品、陶器等を生産し、全九州経済の 6 割 5 分を受持つております。ただ残念ながら数年前から石炭産業は不況であります、漸次住民の生活も安定してきております。

貿易の面におきましても、門司、博多港を經由して、米国、

東南アジアその他諸外国との取引が活潑に行なわれ、その輸出入額は、年々増加の一途を辿っております。本県特産品には、福岡、久留米、大牟田地区で産出する博多人形、博多織ゴム製品、石炭化学品、家具等があり、国内はもちろん広く海外にまで、好評を博しております。また歴史的にも史跡に富み、風光明眉な景勝地が多く、観光客を楽しませております。

貴国とわが国とが、信頼と友好を基礎として、政治経済的に密接不離の関係を保持し、今日の繁栄に寄与してきましたことは、今更申し上げる必要もないのでありますが、私はこの機会に、本県と貴州との親交を更に深め、相互理解のもとに、産業、文化等あらゆる面での進展に資したいと念願する次第であります。

鶴崎知事の歓迎挨拶に答えてワイオミング州のハンセン知事は、一行を代表して次のように挨拶した。

ハンセン知事挨拶

福岡県は非常に産業の発展した県であることは、前から聞いておりました。本日私どもはバスで参りましたが、その途中で多くの工場を見ました。

日米はお互に交流を盛んにして、お互に学んで行きたいと思っております。明年は貴国から知事団が訪米されますが、どうぞアメリカをご訪問下さいますよう希望いたします。

日米の挨拶が終ってから、例により 10 名の州知事が署名したスクロールが鶴崎知事に贈られた。

そのあと州知事から、炭鉱離職者、大学入学、鉄工の平均賃金、選挙権有権者数、労働組合等について質問があつた。

会見後貿易会館で県の物産を見学したが、時間の都合上博多織物工場の視察は中止された。

夜日本料亭新三浦で鶴崎知事主催の歓迎晩さん会が催された。純日本式の晩さん会は、州知事一行の日本滞在中これが最後のものであつた。州知事たちはこの晩さん会を、心ゆくまで楽しんだ様子であつた。

一行は、ここから約 1 時間半バスのドライブを続け、小倉に到着、小倉日活ホテルに宿泊した。

なお、リード、サンダース、ベルモン、ロムニーの各知事及びアメリカ大使館のマクドナルド氏は、明日別行動をとるため福岡に残留し、ホテル・ニュー博多に宿泊した。

新 聞 報 道

西日本新聞 11月2日

炭鉱離職対策など質問

米の州知事一行、福岡県庁を訪れる

米国州知事一行（ジョン・H・リード、メイン州知事ら 10 知事）は、一日午後 5 時すぎ福岡県庁をたずね鶴崎知事、藤井副知事らと約 50 分間懇談した。席上一行は、石炭、鉄鋼業の労働問題などに深い関心を示し、懇談後、県庁内の貿易会館で

県内の物産品を見学した。2日は午前中、八幡製鉄戸畑製造所などを見学の予定。

県庁での懇談会では、まず鶴崎知事が『福岡県は九州経済の65パーセントを占め、九州の中心。残念なことは石炭産業が不況だが、さいきん県民の生活も安定してきた。とくに労働問題ではいろんな施策をしてきたので、なんらかの参考になると思う。ゆつくり見学してほしい』と歓迎のことばを述べると、石炭産業の多いワイオミング州のハンセン知事が一行を代表して『わたしの州も同じ問題をかかえている』と福岡県の石炭産業に関心をみせたのち、来福した10人の知事のサイン入りスクロールを贈った。

懇談会では、また米国知事側から産炭地の失業対策事業や炭鉱離職者の転職、炭鉱労働者や八幡製鉄労働者の賃金実態、住宅、道路などについて具体的な質問が出された。貿易会館の県物産見学では電気化学大牟田工場のアルミナセメント、竹製品、博多人形などの陳列コーナー前で、鶴崎知事らから説明を聞き『福岡県の産業は多角的ですね』と感想を述べていた。

福岡県～東京都

11月2日（火） 第14日

晴れ。

午前8時バスにて宿舎小倉日活ホテル発、8時30分八幡製鉄戸畑製造所に到着、同所会議室で次のような平井所長の歓迎挨拶と事業説明があつた。

今日は皆様ご多忙のところこの工場をご視察いただきまして、ありがとうございます。

日本と貴国とは深い関係にありますが、特に鉄工業は特別な関係をもっております。この戸畑工場は、戦後アメリカの技術を導入し設備されましたもので、とりわけ深い関係にあるものであります。

時間が少なくて残念であります、どうぞ時間の許す限り十分ご視察いただきたく存じます。

これに対しアメリカ側からは、ハワイのバーンズ知事が一行を代表して、次のとおり挨拶した。

本日は団長リード知事が都合により来られませんので、代ってご挨拶いたします。たゞ今はまた平井所長さんから、ごていねいな歓迎のお言葉をいただき、感激しております。

そもそも日米知事相互訪問の目的は、日米の知事が、政治経済、社会の諸問題について認識を深め、それによってお互に自由と人間尊重のため協力し、世界の平和のため努力することにあります。

私どもは、日米知事会議後各地を視察しておりますが、九州では南の方の鹿児島から順次北上して、本日は貴工場を見せていただき、東京に帰ることになっております。

来日以来御地はもとより、各地で貴重な知識を得ました。今朝はまたバスの中で、山田さんからいろいろ税明を聞き、今更ながら皆様のご努力に感激しているところであります。

さきほど平井所長さんからお話がありました米国の援助言々につきましては、米国側からも言えることでありまして、私共は日本から多大の援助を受けております。協力は相互的のものであると存じます。われわれは、今回の旅行で得ました知識を、帰国後行政のうえに反映したいと考えております。

今朝は特に幹部の方のお出迎えをいただき、ありがとうございました。

このあと作業服と鉄帽に身をかためて、工場を視察した。

この日の通訳は、山田外務部長が行ったが、この通訳のため急ぎよ東京から戸畑に馳せ参じたのだといていた。技神に入る程の名通訳で、州知事たちも舌を巻いていた。

小倉飛行場より全日空 272 便に搭乗、定刻 11 時 5 分発、大阪に向かう。晴空の下瀬戸内海を眼下に見下ろして、飛行は快適。遊覧船が白波を蹴立てゝ走っている。

大阪空港にて全日空 24 便に乗り替え、午後 1 時 10 分同空港を離陸した。飛行機の先端には、日米の国旗がはためいていたが、州知事たちは、全日空の歓迎に大喜びであった。

やがて左側の窓近く富士の秀峰が現れた。頂に白雪をいただき、薄茶色の山肌がくっきりと眼の前に迫っている。機はいま富士山の上空 2 千メートルを飛行している。州知事たちは、吸い寄せられるように窓辺によって、美しい富士を眺めあかした。パイロットが右旋回して富士を見物させてくれたのであった。

僅か 45 分後一行は、無事東京国際空港に到着、直ちにハイヤーを連ねて宿舎帝国ホテルに向った。

午後 6 時 30 分から、帝国ホテル蘭の間で、全国知事会会長主催のさよならパーティーが開かれた。東会長は、オークランドにおける日米市長会議に出席中のため参加できなかったが、内山神奈川県知事が会長代理を勤めた。

州知事たちは、武蔵野音楽大学音楽教室の少年少女や、教育大学附属小学校生徒たちの歌と踊りの余興が気に入って、盛んに拍手をおくった。最後の晩さん会にふさわしい、和やかな会であった。

東 京 都

11 月 3 日（水） 第 15 日

午前中自由。州知事たちは、午前中、旅行鞆の整理や土産物の梱包に多忙のようであったが、クリフィールド局長は、きのこのうちに整理を済ませ、この日午後から宮内局長宅及び全国

知事会事務局を訪問。各室を見て廻った。

午後 3 時 40 分、一行は東京国際空港に到着、特別貴賓室で最後の歓送式に列席した。

この日は文化の日で、各知事とも行事多忙のため見送りできず、宮内局長が歓送のことばを述べて一行を送った。

午後 5 時一行は、パンアメリカン 1 便に搭乗、東京国際空港を離陸、帰国の途についた。

結 び

以下英字新聞に発表された訪日の感想や、州知事からの礼状を訳載して、結びの言葉に代える。

英文毎日所載

アメリカ州知事日本訪問の印象を語る。

(オクラホマのヘンリー・ベルモン知事は、最近日本を訪問
この記事は同知事の訪問記である。編集部)

UPI オクラホマ市、11月22日電。

誰でも自国と全く違った国を旅行すれば、多くの強烈な第一印象と、多くの驚きを発見するものである。少くも私の日本旅行はそうであった。二、三の印象を述べると

日本国民について＝多忙で、熱情的でアメリカ人に対し友好的な、極端にいんぎんな、機敏でそしてきれい好きな国民であ

る。

日本の都市について＝窮屈な、ごたごたした、単調な町であるが、しかも新らしい建築物や急速に増加する人口で繁昌している。

日本の観光地について＝すてきな山や平和な海の風景の中にはめ込まれている。日本人や外国の旅行者が、くつろいで楽しむことができるように、訓練の行き届いた転員によって効果的に経営されている。

日本の農園について＝むしろ庭園のように小さくて、びっしりと植付がしてあり、土地は肥沃である。エーカーごとの生産は高いが、一人当りの生産は、極めて低い。日本の農夫は、腰をかがめる仕事が多いので、骨の折れる仕事をしなければならない。若干の小さな2輪トラクターと小さな打穀機以外、殆んど機械化されていない。農夫は手で稲を植え、手で草を取る。鎌で稲を刈り、手で束ね、その束を手で打穀機のところへ運んで行き、またからざをで打穀し、後に莖を織るため藁束を手で積み重ねる。家畜飼育者は同様に、鎌でまぐさを刈り、手でそれを積み重ねる。ここでは農業機械化を大いに進めねばならない。農村から都会に多くの人が移動するのも、もっともと思われる。

日本人の食物について＝好きなものを選びなさい。あるものはすばらしく、あるものは西洋人には向かない。海産物、ビーフ、ポーク、チキンは一般によろしい。野菜も悪くはない。しかし海草、さしみ、うなぎ、たこ、まつたけ、冷飯、デザート

ト及びスープのような日本独特の料理の味は、これを修得しなければならぬ。私自身としては、西洋料理の方が好きだが、これは個人的なことである。

運輸交通について＝汽車は早くて清潔で、時間通りに運行し気持がよいが混雑している。バスも、狭く曲った道を走るため遅いことを除けば、汽車と同様である。自動車はアメリカのものより小さく、スクーターや自転車が圧倒的に多い。トラックは、アメリカにあるものよりは一層小さく、半トレーラーは全くない。飛行機は、多くはアメリカ又は英国製で、日本語と英語を話す乗務員が、能率的に運行している。座席は狭く、天井は低い、食物はよい。

神社について＝興味はあるが、クリスチャンには意味はない。

驚いたことについて＝○食事の前に手や顔をふくため、湯気の立つタオルを提供することが一般に行なわれているが、これは頗る気分を爽快にする。○どのバスにもいるバス・ガールは新鮮な花を飾り、旅行者の手助けをし、鉄道の踏切りでは、先に走って行き、歌をうたい、バックする時は信号を与え、バスをきちんと清潔に保っている。○豚小舎の周囲に草花を植え、豚小舎の中に花ビンを置いている。○婦人が道路建設や材木運搬の人足として働らき、その他の重労働に従事している。○カラスがゴルフ場からゴルフのボールをくわえて運んで行くのでゴルフが一層面白くなる。○日本は美しい興味深い国で、アメリカの信頼できる友である。この友情と理解は、年と共に深まり両国のためになるものであることは、十分信ずることができる。

ジャパントイムス（社説） 11月3日

アメリカ知事帰国

過去14日間日本訪問中のアメリカ州知事一行は、本日帰国するが、一行は日本の現状について、好印象を抱いて帰国するだろうと報じられている。一行の団長メイン州のジョン・リード知事は、好印象を抱いて帰国すると述べたが、他の報道によると、州知事たちは『本当の日本国民』に親しく接しなかったのだが、タイトな日程のためできなかったと報じている。

今回のような事情の下では、このことは殆んど避け得られなかったことである。多少なりとも公式の性格があるこの種の訪問においては、訪問者に、一般の人々の間に入り、話し合いしたり質問したりする、十分な時間を与えることは困難である。

アメリカの州知事たちは、10月22日、東京で開催された日米知事会議に出席のため、日本を訪問したのである。この会議は、1962年に始められてから、アメリカの州知事と46都道府県の知事との会談の第3回目である。会議が成功裡に終わったのちアメリカの州知事は、広く日本各地の旅行に出発し多くの重要な地方が訪問された。しかしながら言語の障壁が、一行に随行した人々の説明を十分に理解させるうえに、妨害となったようである。公式の立場で外国人の団体が日本を訪問する場合は、よりすぐれた通訳が必要であると思われる。

それにしても、このような障害にもかかわらずアメリカ州知事団の訪日は、成功であったと声を大にして叫ぶことができる。州知事たちは、日本の工業と農業の進歩に特別の関心を示した

が、これらについて一行は、十分な証拠を見聞することができたのである。一行は、日本とアメリカの緊密な経済的連けいを喜び、両国の一層の協力を希望した。

アメリカ州知事の日本訪問の実際の価値は、疑いもなくアメリカの日本に対する関心と善意の増進によって実証されるであろう。

比較的短期間の訪問のため、適当な方法で彼等に示し得なかった日本人の生活と文化については、わが国の各種の協会等が彼等の利用し得る手段により、新鮮で興味ある情報をアメリカ国民に提供することによって修正されることを希望する。この点に関しては、すでに多くのことが為されていることを認めるものであるが、われわれは時に、アメリカ国民が全体として、日本国民がアメリカ国民に対し抱いていると同様の正しい認識を持っているかどうかを疑うものである。

日本親善訪問のしめくり

リード知事はより強力な日米結合を強調

福岡 11月2日発 (UPI)

10人のアメリカ州知事の2週間にわたる親善訪問のしめくりとして、メイン州のジョン・H・リード知事は、月曜日次のように述べた。『訪日は予期以上に成功であった。そしてより大きな日米の協力実現のためその責任を感じた。』

リード知事は、アメリカ州知事団の団長として、10月22

日、東京で開催された日米知事会議に出席したものである。

今回の日米知事会議は、1962年以來アメリカ州知事と日本の46都道府県知事との会談の第3回目のものである。会議後アメリカ州知事は、日本の最南端の島を1週間にわたり旅行した。

ユーパー記者との会見でリード知事は、旅行が終末に近づき州知事たちの胸に強く焼きつけられていることは、日本国民の友好と厚遇に対する感謝の念であると語った。

一行は、水曜日、香港及びベトナム訪問のため出発する予定である。

日本をよりよく知り得たリード知事は、日本とアメリカは、より大きな協力の必要があることを信ずるに至ったと、次のように語った。

『日本の経済的特性から、日本人が繁栄するためには、他の国々に輸出しなければならない。日本人がアメリカから品物を買えるようにわれわれは、日本人の品物を買わねばならない。互恵は将来に対する基本である。日米のより自由な貿易の実現は、日本及びアメリカの地方産業が損失を招くような場合には早急にこれを期待することはできない。私の州ではある産業が外国品輸入のため非常に圧迫されてきた。しかしながら心にとめておくべき重要なことは、われわれは、友好国が繁栄するように援助することに本当の関心をもっているということである。国内におけるバターの政策が、外国に対しては大砲の政策にすぎないということは、不適切である。』

私は旅行中、幾人かの日本の知事から、日本は不況であると聞かされたが、日本の不況について私は何らの徴候を認め得なかった。われわれが日本の経済が繁栄するように協力せず、日本が非友好国に転ずるようなことがあれば、われわれにとって悲惨事である。日米をより協力させる一つの方法は、どこか北方の私の州のような気候の日本の県とメイン州とが、姉妹州県の提携を結ぶことである。私が6日前訪問した南方の県の一つ＝宮崎県黒木博知事＝とも話合いを進めている。私はメイン州のじゃがいもの種を日本に輸出することについて黒木知事と話合ったが、黒木知事は、宮崎県の作物の種類が多くなって結構だと、この考えに関心を示した。

私は日本の植林計画に深い印象を受けた。日本の植林方法からメイン州が、学びとることができるかどうかわが州の林野庁長官と話合うつもりである。

観光事業の推進に対する日本人の努力に感心した。メイン州の経済開発部で研究させるため、パンフレットなどを持ち帰るつもりである。

九州旅行中、私が最も感動した瞬間は、宮崎県内を案内した2人の緑の制服を着たバス・ガイドが、宮崎駅で米州知事一行を見送っていたとき、泣きくずれたことであった。

日曜日の夜、日本式旅館で畳の上に寝ることなど、いろいろ日本の風習を試みた。日本のさしみは未だ嘗て食べたことはなかったが、旅行中さしみの味を覚えた。』

アメリカ州知事たちは福岡県で、社会党の知事に、芸者パー

ティーンに招待された。

礼 状 の 一 部

東 会 長 殿

1965年12月13日

拝啓 先般アメリカ州知事一行が、心温かく友好的な貴国を訪問いたしました際、貴下にご拝眉の光榮に浴しましたことに対し、衷心よりお礼申し上げます。

私の日本旅行は、私の決して忘れ得ぬものでありますとともに、貴下並びに貴国の多くの親切な職員の方々に、永久に私が恩義を受けた旅行であります。私の貴国訪問は、私の人生における最も光彩ある出来事の一つということができ、一言に要約すれば、友情といい得ると存じます。わが州及び州民は、日本との友好関係をわれわれの誇りと存じており、アメリカの全国民は、貴下並びに貴国とのこのように温かい関係が、絶えず保持できますようにと心から切望し、念願するものであります。

またすばらしいお土産をいただき、重ねて厚くお礼申し上げます。この品は、私の人生のうち最も興味深く楽しかった時の不断の思い出として、末長く宝物といたしたいと存じます。

ご健勝をお祈りいたし、最高の敬意を表します。

敬 具

ジョージア州知事

カール・E・サンダース

東 会 長 殿

1965年12月7日

拝啓 先般貴国訪問の際、貴下並びに貴国々民から賜わりましたすばらしいご歓待に対し、私の感謝の気持を言葉に表現いたしますことは、まことに困難であります。

特に私に賜われました心のこもった土産物や花束に対し感謝の意を表します。このことは日米両国の友情のきずなを一層強めるのに役立つと存じます。

ご親切に対し衷心より感謝いたします。

敬 具

モンタナ州知事

ティム・バブコック

アメリカ州知事視察日程

10月20日（水） 第1日

東京都

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘要
	20:15	ノースウエスト7便	アメリカ州知事東京到着
		ハイヤー	帝国ホテル宿泊

10月21日（木） 第2日

東京都

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘 要
	08:30		日米両局長打合せ
	09:00		
帝国ホテル発	09:10	ハイヤー	
アメリカ大使館着	09:30		アメリカ大使ブリーフィング
同上発	10:30	ハイヤー	
	10:50		記者会見
	11:30		U.S.トレード・センター (溜池東急ビル)
首相管邸着	11:45		総理大臣訪問
同上発	13:30	ハイヤー	
外務省着	13:40		外務大臣会見及び自治大臣会見(予定)
自治省発	15:15	ハイヤー	
東京都庁着	15:30		東京都庁訪問
同上発	16:15	ハイヤー	都知事都政概要説明
帝国ホテル着	16:25		
同上発	17:30	ハイヤー	
椿山荘着	18:00		東京都知事主催レセプション 椿山荘
同上発	19:30		
帝国ホテル着	20:00		
			帝国ホテル宿泊

10月22日（金） 第3日

東京都

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘要
帝国ホテル発	08:30	ハイヤー	
都道府県会館着	08:45		
	09:00		日米知事会議 6階大会議室
	12:00		
	12:00		昼食
	13:00		
	13:00		日米知事会議
	15:00		
	16:00		天皇陛下に謁見
	16:30		
帝国ホテル着	17:00		
同上発	19:10	ハイヤー	
アメリカ大使館着	19:30		アメリカ大使主催晩さん会
同上発	21:30		
帝国ホテル着	21:50		
			帝国ホテル宿泊

10月23日（土） 第4日

東京都

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘要
帝国ホテル発	08:45	バス	
明治神宮着	09:00		明治神宮表敬
同上発	09:45	バス	
東村山着	11:45		東村山浄水場、多摩湖、狭山湖視察。水道局かも場で昼食
同上発	14:00	バス	
駒沢着	16:15		駒沢オリンピック公園視察
同上発	16:45	バス	
帝国ホテル着	17:30		
	18:00		レセプション 自治省、外務省共催 (帝国ホテル)
	19:30		
			帝国ホテル宿泊

10月24日（日） 第5日

東京都～栃木県

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘要
帝国ホテル発	08:00	ハイヤー	
東武浅草駅発	08:40	東武D特急No.9	
東武日光駅着	10:25		県、市関係者出迎え
同上発	10:30	ハイヤー	
輪王寺境内着	10:40		輪王寺境内紫雲閣にて休憩。お茶。
紫雲閣発	11:05	徒歩	
	11:05		輪王寺、東照宮拝観
東照宮鳥居前発	12:20	ハイヤー	
金谷ホテル着	12:25		栃木県知事主催昼食会
同上発	13:35	バス	
華厳観瀑台着	14:25		華厳ノ滝見物
同上発	14:50		
中禅寺湖棧橋着	15:00	遊覧船	湖上遊覧
同上	15:50	バス	
国鉄日光駅着	16:35		
同上発	16:45	日光号	
東京駅着	18:55		
帝国ホテル着	19:10		
			帝国ホテル宿泊

10月25日(月) 第6日

東京都～鹿児島県

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘 要
帝国ホテル発	09:00		
羽田空港着	09:40		
同上発	10:00	日航109便	
大阪空港着	10:45		
同上発	11:15	全日空215便	機内昼食
鹿児島空港着	12:55		
同上発	13:10	ハイヤー	
鹿児島県庁着	13:30		
	13:40		鹿児島県庁訪問 知事県政概要説明
	14:20		
同上発	14:25	バス	
久野商店着	14:35		大島紬等視察
同上発	15:15	バス	
桜島棧橋着	15:25		
同上発	15:30	船	
袴腰着	15:45		
同上発	15:50	バス	
湯之平着	16:05		湯之平より展望
同上発	16:20	バス	
袴腰着	16:45		
同上発	16:50	船	
桜島棧橋着	17:05		
同上発	17:10	バス	
城山観光ホテル着	17:25		
	17:30		記者会見
	17:50		
	18:30		鹿児島県知事主催晩さん会
	20:30		
			城山観光ホテル宿泊

10月26日（火） 第7日

鹿児島県～宮崎県

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘 要
城山観光ホテル発	07:35	ハイヤー	朝食ホテル
鹿児島空港着	08:00		
同上発	08:10	全日空 212 便	
宮崎空港着	08:35		
同上発	08:55	ハイヤー	
宮崎県庁着	09:10		宮崎県庁訪問、知事県政概要説明、観光映画「みやざき」上映
同上発	10:20	バス	
高等営農研修所着	11:10		県高等営農研修所視察
同上発	12:00	バス	
宮崎観光ホテル着	13:10		昼食会（ホテル、ダイニンググループ）
	14:20		
	14:20		記者会見（櫛の間）
同上発	14:50	バス	
宮崎神宮着	15:00		宮崎神宮表敬 博物館視察
同上発	15:40	バス	
平和台公園着	15:45		平和台公園（はにわ園を含む）視察
同上発	16:15		
子どもの国着	16:55		
同上発	17:25		
フェニックス ドライブイン 着	17:35		視 察
同上発	17:55		
宮崎観光ホテル着	18:35		
	19:30		宮崎県知事主催晩さん会
	21:30		
			宮崎観光ホテル宿泊

10月27日（水） 第8日

宮崎県～大分県

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘要
宮崎県観光ホテル発	08:40	ハイヤー	
宮崎駅着	08:45		
同上発	08:55	特急いそかぜ	大分県へ
大分駅着	12:12		
同上発	12:20	バス	
三洋本館着	12:25		昼食
同上発	13:25	バス	
大分県庁着	13:30		大分県庁訪問 知事県政概要説明
同上発	14:00	ハイヤー	
臨海工業地着	14:30		展望台より臨海工業地帯二 号埋立地視察
同上発	14:50	バス	
マリーン・バレス着	15:20		大分生態水族館視察
同上発	15:40	バス	
産業工芸試験所着	16:10		大分県別府産業工芸試験所 視察
同上発	16:30	バス	
海地獄着	16:40		別府地獄めぐり 海地獄
同上発	17:10	バス	
杉乃井ホテル着	17:20		記者会見
	18:00		
	18:00		大分県知事主催晩さん会 杉乃井ホテル大広間
	19:30		
			杉乃井ホテル宿泊

10月28日(木) 第9日

大分県～熊本県

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘要
杉乃井ホテル発	08:00	バス	三愛レストハウスにて大分県より引継ぎ(バス乗替え)
瀬の本着	10:30		
同上発	11:00	バス	
国立青年の家着	11:45		国立青年の家にて昼食
同上発	12:35	バス ロープウェイ	
仙酔峡着	12:45	徒歩 マウントカー	一の宮町仙酔を經由火口案内
阿蘇山上駅着	14:20		
阿蘇観光ホテル着	14:50		休憩
同上発	15:20	バス	
熊本県庁着	16:40		熊本県庁訪問、知事県政概要説明、記者会見
同上発	17:30	バス	
ホテル.キヤツスル着	17:40		
同上発	18:10		
おくむら着	18:20		熊本県知事主催晩さん会
同上発	20:20		
ホテル.キヤツスル着	20:30		
			ホテル.キヤツスル宿泊

10月29日（金） 第10日

熊本県～長崎県

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘要
ホテル. キヤツスル発	09:00	バス	
熊本城着	09:10		熊本県視察
同上発	10:00		
三角港着	11:10		
同上発	11:20	定期船	(長崎県～引継ぎ) 昼食
島原港着	12:20		
同上発	12:30	バス	途中仁田峠観光 以後自由行動
雲仙着	14:10		
			ホテル自由夕食
			雲仙観光ホテル宿泊

10月30日（土） 第11日

長 崎 県

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘 要
雲仙（ホテル）発	09：00	バ ス	
長 崎 県 庁 着	11：20		長崎県庁訪問、知事県政概要説明、記者会見（10分）
同 上 発	12：00	ハイヤー	
グラント、ホテル着	12：05		
	12：30		昼 食 会
	13：30		
同 上 発	14：00	バ ス	三菱重工長崎造船所、平和祈念像 国際文化会館視察
同 上 着	17：00		
同 上 発	18：00	ハイヤー	
花 月 着	18：20		長崎県知事主催晩さん会
同 上 発	20：30	ハイヤー	
グラント、ホテル着	20：50		
			グラント・ホテル宿泊

10月31日（日） 第12日

長崎県～佐賀県

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘 要
グランド・ホテル発	09:00	バス	
有田町着	11:00		陶器産業視察
同上発	11:50		
有田町役場着	12:00		昼食（有田町役場）
同上発	12:50		
有田町着	13:00		陶器産業視察
同上発	14:40	バス	
嬉野着	18:10		和多屋別荘 休憩
	19:00		
	19:00		佐賀県知事主催晩さん会 （和多屋別荘）
	21:00		
			和多屋別荘宿泊

11月1日（月） 第13日

佐賀県～福岡県

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘 要
嬉野発	08:20	バス	朝食（和多屋別荘）
佐賀県庁着	09:30		佐賀県庁訪問 知事県政概要説明、記者会見
	10:20		
同上発	10:30	バス	（福岡県に引継ぎ） 家具木工場視察
大川市着	11:00		
同上発	11:50	バス	
久留米市着	12:40		ブリジストン工場視察 同上クラブにて昼食
同上発	14:30	バス	
福岡県庁着	16:00		福岡県庁訪問 知事県政概要説明
同上発	16:40	ハイヤー	
晩さん会場着	17:45		福岡県知事主催晩さん会
同上発	19:45	バス	
小倉日活ホテル着	21:25		小倉日活ホテル宿泊

11月2日（火） 第14日

福岡県～東京都

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘要
ホテル発	08:00	ハイヤー	
戸畑製造所着	08:30	ハイヤー	八幡製鉄戸畑製造所視察
同上発	09:45		
小倉空港着	10:45		
同上発	11:05	全日空 272 便	
大阪空港着	12:15		
同上発	13:00	全日空 24 便	
東京国際空港着	13:45		
帝国ホテル着	14:15		
	18:30		全国知事会会長主催歓送 晩さん会 (帝国ホテル)
	20:30		
			帝国ホテル宿泊

11月3日（水） 第15日

東京都

訪問先その他	発着時間	交通機関	摘 要
午前午後			自由
帝国ホテル発	15:10		VIP室にて歓送式
東京国際空港着	15:40		
	16:20		
同上発	17:00	PAA1便	帰 国

アメリカ州知事一行名簿

アメリカ州知事一行名簿

席 次

1. メイン州知事 ジョン・H. リード (団長, 44才, 共和党)
(アメリカ全国知事会会長)
GOVERNOR JOHN H. REED, MAINE (LEADER OF THE DELEGATION)
CHAIRMAN OF THE NATIONAL GOVERNORS' CONFERENCE
2. ジョージア州知事 カール・E. サンダース (40才, 民主党)
GOVERNOR CARL E. SANDERS, GEORGIA
3. ロードアイランド州知事 ジョン・H. チャファイ (43才, 共和党)
GOVERNOR JOHN H. CHAFEE, RHODE ISLAND
4. バーモント州知事 フィリップ・H. ホフ (41才, 民主党)
GOVERNOR PHILIP H. HOFF, VERMONT
5. ミシガン州知事 ジョージ・ロムニー (58才, 共和党)
GOVERNOR GEORGE ROMNEY, MICHIGAN
6. アイオワ州知事 ハロルド・E. ヒューズ (43才, 民主党)
GOVERNOR HAROLD E. HUGHES, IOWA
7. モンタナ州知事 タイム・バブコック (45才, 共和党)
GOVERNOR TIM BABCOCK, MONTANA
8. ワイオミング州知事 クリフオード・P. ハンセン (53才, 共和党)
GOVERNOR CLIFFORD P. HANSEN, WYOMING
9. オクラホマ州知事 ヘンリー・ベルモン (44才, 共和党)
GOVERNOR HENRY BELLMON, OKLAHOMA
10. ハワイ州知事 ジョン・A. バーンズ (56才, 民主党)
GOVERNOR JOHN A. BURNS, HAWAII
11. アメリカ全国知事会事務局長 ブレバード・クリフイールド (49才)
MR. BREVARD CRIHFIELD, SECRETARY-TREASURER OF THE
NATIONAL GOVERNORS' CONFERENCE
12. アメリカ大使館人物交流部副部長 ジョン・F. マクドナルド
MR. JOHN F. MCDONALD, EDUCATIONAL EXCHANGE BRANCH,
AMERICAN EMBASSY
13. 旅行コンサルタント ロイヤル・ライケン
MR. LOYAL LIKEN, TRAVEL CONSULTANT